



## COMPANY PROFILE 2016

マツダ会社概況 2016



*zoom-zoom*

マツダのモノづくりの礎

理想を掲げ、

妥協することなく挑み続ける

「飽くなき挑戦」

まだ誰も見たことがないクルマをつくりたい。

どんな困難や大きな壁にぶつかっても、

決してあきらめず夢を追いかけていく。

理想の未来は、挑戦からしか生まれない。

マツダはそんな信念を持って、

クルマをつくり続けています。

マツダのモノづくりの礎となるもの。

それは、不屈のチャレンジ精神です。

|             |                              |                          |                 |                           |                         |
|-------------|------------------------------|--------------------------|-----------------|---------------------------|-------------------------|
| 目次 Contents | カーラインナップ ————— P09-10        | 役員紹介 ————— P15-16        | 日本 ————— P22-24 | 中国 ————— P29-30           | 環境・安全技術 デザイン ——— P35-40 |
|             | コーポレートビジョン、成長戦略 ————— P11-12 | 主な子会社・関連会社 ————— P17-18  | 北米 ————— P25-26 | アジア・大洋州 ————— P31-32      | 社歴 ————— P41-44         |
|             | 会社の概要と実績 ————— P13-14        | 研究開発・地域別の活動 ————— P19-21 | 欧州 ————— P27-28 | 中近東・アフリカ・カリブ・中南米 — P33-34 |                         |





## 》「走る歓び」が原点

単なる移動手段ではなく、心の充足を与えるもの。

人には古くより、抱き続けてきた夢があります。遠くのまだ見ぬ地へ行きたい。その強い想いは、やがて、さまざまな移動手段の発明につながりました。馬車、電車、船、飛行機、もちろんクルマもそのひとつ。より遠くへ、より早く行くために。幾度もの技術革新を経て、クルマは多くの人にとってごく身近なものになりました。

そして、移動だけに飽き足らない人たちは、自らの意志で行き先を選び、その道中でたくさんの発見をし、自分を満たしてくれる新しい世界を切り拓いていきました。そう、クルマは、単なる移動手段から、心の充足を与える存在にまで昇華したのです。

ガレージにたたずむ愛車を見たとき。ドアを開け、颯爽とクルマに乗り込むとき。アクセルを踏み込み、エンジンの鼓動を感じるとき。その一瞬一瞬に沸き上がる、ワクワクするようなときめきが、マツダのモノづくりの原点。そんな「走る歓び」を届けられるクルマこそが、人生を豊かにし、輝かせることができると、私たちは信じ、クルマをつくり続けています。







## 》受け継がれるDNA

常識にとらわれず、本質を追求し続ける、不屈のチャレンジ精神。

マツダのモノづくりに深く刻み込まれているもの。それは、広島で育まれた不屈のチャレンジ精神です。戦後、壊滅的な打撃を被った広島を復興させたのは、ゼロから立ち直る屈強な精神、そして明るい未来を願い、挑戦し続けてきた人々の力。広島で育まれたマツダにもそのスピリットが確かに受け継がれています。

私たちの代表的な挑戦のひとつとして挙げられるのが、“夢のエンジン”とも言われた「ロータリーエンジン」の開発。“実用化は不可能”というのが当時の常識だったにもかかわらず、その常識にとらわれることなく、幾多の試行錯誤を繰り返し、ついに1967年、世界の自動車メーカーで初めて「2ローター・ロータリーエンジン」の実用化に成功しました。また、1991年のル・マン24時間耐久レースで、マツダは日本車初、そしてロータリーエンジン搭載車による史上初めての総合優勝を達成。さらに、常識を打ち破る新世代技術「SKYACTIV TECHNOLOGY」の開発、生命感溢れる動きを表現した「魂動(こどう)-Soul of Motion」というデザインテーマの確立など、マツダの不屈の精神は、確かな実績を持って証明されています。

誰もが無理だと思うこと、難しいということに敗れては、本質を追求するためには人と違うやり方もいとわぬ。新しい技術は、飽くなき挑戦からしか生まれないという信念が、マツダのクルマづくりへのこだわりなのです。







## 》現在、そして未来へ

“Zoom-Zoom”。いままでも、これからも。人生をより豊かにしてくれるクルマを。

子どもの頃、風を切って自由に走り回った、あの楽しさ。颯爽と走るクルマを夢中になって見ていた、あのワクワク感。Zoom-Zoom。それは、誰もが経験した飽きることない快感。マツダが、お客様にお届けしたいのは、まさにそうした「走る喜び」をカタチにしたクルマです。

理想とするのは、人馬一体。まるで名馬のようなクルマ。大切なパートナーのように、ときめきや感動をわかちあえること。ドライバー自身の想いとクルマの動きの一体感が、積極的にクルマを楽しむ充実した生活につながります。また、環境・安全への配慮も、マツダがお客様とかわす固い約束です。環境性能・安全性能を徹底的に追い求めることで、クルマも、人も、地球も、みんながワクワクし続けられる未来を必ずかなえることができると、私たちは信じています。

お客様の日常を乗せ、時間を共にするものだから。乗るたび、走らせるたびに、お客様との絆を深め、人生をより豊かにしていける存在でありたい。いままでも、そして、これからもずっと。私たちマツダは、妥協をすることなくクルマづくりにすべてを捧げ、世界中のお客様にお届けすることを真正面から挑み続けていきます。



カーラインナップ

乗 用 車

Mazda  
**ATENZA** WAGON / SEDAN  
(海外市場名: Mazda6)



Mazda  
**ROADSTER**  
(海外市場名: Mazda MX-5)



海 外 専 用 車

Mazda  
**DEMIO**  
(海外市場名: Mazda2)



Mazda  
**AXELA** SPORT / SEDAN  
(海外市場名: Mazda3)



Mazda  
**CX-3**



Mazda  
**CX-5**



Mazda  
**PREMACY**  
(海外市場名: Mazda5)



Mazda  
**BIANTE**



**MAZDA2** SEDAN



**CX-4**



**CX-9**



**BT-50**



軽 自 動 車

Mazda  
**FLAIR**



Mazda  
**FLAIR WAGON**



Mazda  
**SCRUM** WAGON



Mazda  
**CAROL**



Mazda  
**FLAIR CROSSOVER**



商 用 車

Mazda  
**BONGO** VAN



Mazda  
**BONGO** TRUCK



Mazda  
**FAMILIA** VAN



Mazda  
**TITAN**



Mazda  
**SCRUM** VAN



Mazda  
**SCRUM** TRUCK



福 祉 車 両

Mazda  
**DEMIO**



Mazda  
**PREMACY**



Mazda  
**BIANTE**



Mazda  
**FLAIR WAGON**





# コーポレートビジョン

## コーポレートビジョン※

私たちはクルマをこよなく愛しています。

人々と共に、クルマを通じて豊かな人生を過ごしていきたい。

未来においても地球や社会とクルマが共存している姿を思い描き、  
どんな困難にも独創的な発想で挑戦し続けています。

- 1.カーライフを通じて人生の輝きを人々に提供します。
- 2.地球や社会と永続的に共存するクルマをより多くの人々に提供します。
- 3.挑戦することを真剣に楽しみ、独創的な“<sup>どう</sup>道”を極め続けます。

※マツダは2015年4月、コーポレートビジョンを以下の目的で改訂し、全てのステークホルダーから広く信頼される企業グループとしてさらに成長していきます。

- ・マツダの個性をより明確に定義することでマツダグループのあらゆる企業活動が一体となって動いていきます。
- ・マツダグループの全従業員がコーポレートビジョンの目指すゴールについて語り合いを繰り返し、共有・理解・納得するプロセスを促進します。
- ・コーポレートビジョンを日々の業務に密接に結び付けます。

## 「マツダ」の由来と意味

社名「マツダ」は、西アジアでの人類文明発祥とともに誕生した神、アフラ・マズダー (Ahura Mazda) に由来します。この叡智・理性・調和の神を、東西文明の源泉的シンボルかつ自動車文明の始原的シンボルとして捉え、また世界平和を希求し自動車産業の光明となることを願って名付けられました。それはまた、自動車事業をはじめた松田重次郎の姓にもちなんでいます。

## マツダブランドシンボル

「自らをたゆまず改革し続けることによって、力強く、留まることなく発展していく」というブランドシンボル制定のマツダの決意を、未来に向けて羽ばたくMAZDAの<M>の形に象徴しています(1997年6月制定)。



## マツダコーポレートマーク

1975年のCI導入を機に、コミュニケーションの核となる企業シンボルとして制定しました。その後1997年のブランドシンボル制定に伴い、可読性を生かした「マツダコーポレートマーク」と位置づけています(1975年1月制定)。

ブルーは「環境や安全に対して社会的責任を果たすという自動車メーカーとしての企業姿勢を表すと同時に、品質・技術力を感じさせる」との考えの下、ブルーをコーポレートカラーとして採用しています。

mazda

## マツダのブランドスローガン“Zoom-Zoom”※”(ズーム・ズーム)

創造性と革新性で、子どものときに感じた動くことへの感動を愛し持ち続ける人々に「心ときめくドライビング体験」を提供したいというマツダの想いを示した言葉です(2002年4月発表)。

zoom-zoom

※日本語の「ブーブー」(車が動くときの音)を意味する英語。

# 成長戦略

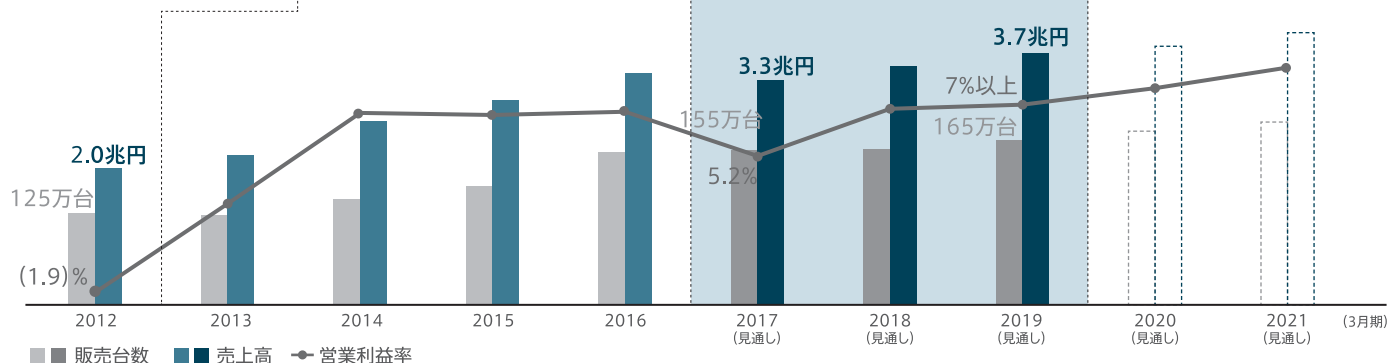
## 構造改革ステージ2 質的成長／ブランド価値向上を目指して

マツダは、2012年2月、厳しい外部環境への対応と将来の成長を確実にするために「構造改革プラン」を発表し、主要施策を実施してきました。SKYACTIVによるビジネス革新は着実に成果が出ており、2012年以来、台数、利益ともに成長を実現してきました。しかし、主要施策の各領域では、まだ改善の余地があると考えています。そこで、2017年3月期から新たにスタートする3か年の中期経営計画「構造改革ステージ2」では、「構造改革プラン」での主要施策をより高いステージに引き上げ、着実な台数成長を持続させながら、商品・販売・生産・財務の各領域でビジネス効率を高めるなど「質的成長」を図り、本格的な「ブランド価値向上」に向けた取り組みを加速します。具体的には、SKYACTIV商品群の継続的進化と新型車の導入により、台数成長を持続しつつ、ブランド・販売ネットワーク・グローバル生産効率などビジネス基盤を強化します。また、開発・生産・調達が一体となったグローバル一括企画により、最適コモンアーキテクチャーを実現し、さらに高効率・高性能なSKYACTIV GEN2モデルの投入を開始します。さらに、強固な財務基盤構築にあわせ、配当性向を改善していきます。

2019年3月期 経営指標 (為替前提:USDドル 120円/ユーロ 130円)

| グローバル販売台数 | 営業利益率 | 自己資本比率 | 配当性向  |
|-----------|-------|--------|-------|
| 165万台     | 7%以上  | 45%以上  | 20%以上 |

|         | 構造改革プラン<br>(2013年3月期～2016年3月期)   | 構造改革ステージ2<br>(2017年3月期～2019年3月期)  | 次期中期経営計画<br>(2020年3月期～)  |
|---------|--|---|--|
|         | 構造改革による<br>事業構造の転換   | 質的成長／<br>ブランド価値向上   | さらなる持続的成長  |
| 商品・開発   |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>新世代商品群の継続的進化</li> <li>次世代技術／商品の開発・投入開始</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>GEN2本格導入 </li> <li>電気駆動強化</li> </ul> |
| ブランド・販売 | <ul style="list-style-type: none"> <li>正価販売と台数成長</li> <li>ブランド価値向上に着手</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>販売戦略浸透に向けた現場改革を推進</li> <li>お客さま保有体験の向上</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>商品の大幅強化による台数成長</li> </ul>   |
| グローバル生産 | <ul style="list-style-type: none"> <li>メキシコ・タイ・ロシア・マレーシアなどでの生産体制強化</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「モノづくり革新」をグローバル展開しコスト改善加速</li> <li>工場稼働率最大化により販売拡大をサポート</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>量的成長に向けた生産能力拡充</li> </ul>   |
| 財務基盤強化  | <ul style="list-style-type: none"> <li>円高環境下でも利益を創出する収益構造への転換</li> <li>財務基盤の回復および復配</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>強固な財務基盤構築</li> <li>配当性向改善</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>成長と収益性向上の両立</li> <li>資本効率・ROEの向上</li> </ul>   |



(注) GEN1:SKYACTIV Generation1、GEN2:SKYACTIV Generation2の略称

(注)「構造改革ステージ2」に続く次期中期経営計画2020年3月期～でのさらなる成長に向けた判断は、事業環境などの変化を踏まえ、「構造改革ステージ2」期間中に行います。



# 会社の概要と実績

## 会社概要 (2016年3月31日時点)

|         |   |
|---------|---|
| 社 名     | マツダ株式会社 (英訳名: Mazda Motor Corporation)  |
| 会 社 設 立 | 1920年1月30日  |
| 本 社     | 〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3番1号   |
| 代 表 者   | 代表取締役 社長兼CEO 小飼 雅道  |
| 主な事業内容  | 乗用車・トラックの製造、販売など  |
| 株 式     | 発行可能株式総数 1,200,000,000株<br>発行済株式総数 599,875,479株<br>株 主 数 158,602名                 |
| 資 本 金   | 2,589億5,709万6,762円  |
| 従 業 員 数 | 単体 男性: 19,653名 女性: 1,948名 合計: 21,601名 (出向者含む)<br>連結 合計: 46,398名                   |
| 研究開発拠点  | 本社、マツダR&Dセンター横浜、マツダノースアメリカンオペレーションズ (米国)、マツダモーターヨーロッパ (ドイツ)、中国技術支援センター (中国)       |
| 生 産 拠 点 | 国 内: 本社工場 (本社、宇品)、防府工場 (西浦、中関)、三次事業所<br>海 外: 中国、タイ、メキシコ、台湾※1、ベトナム※2、マレーシア※3、ロシア※3 |
| 販 売 会 社 | 国 内: 229社<br>海 外: 141社  |
| 主 要 製 品 | 四輪自動車、ガソリンレシプロエンジン、ディーゼルエンジン、自動車用手動／自動変速機   |

※1 2016年5月でマツダ車の生産を終了

※2 一部車種は現地組立 (生産台数は公表対象外)

※3 現地組立のみ (生産台数は公表対象外)

## グローバル生産

(2016年3月31日時点) (台)

|       |     | 2012年3月期  | 2013年3月期  | 2014年3月期  | 2015年3月期  | 2016年3月期  |
|-------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| グローバル |     | 1,185,222 | 1,200,014 | 1,269,296 | 1,375,064 | 1,571,199 |
|       | 国 内 | 846,574   | 879,129   | 972,533   | 919,405   | 989,401   |
|       | 海 外 | 338,648   | 320,885   | 296,763   | 455,659   | 581,798   |

## グローバル販売

(2016年3月31日時点) (台)

|       |     | 2012年3月期  | 2013年3月期  | 2014年3月期  | 2015年3月期  | 2016年3月期  |
|-------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| グローバル |     | 1,246,375 | 1,234,503 | 1,330,921 | 1,397,289 | 1,534,239 |
|       | 国 内 | 205,538   | 216,257   | 243,598   | 224,543   | 232,350   |
|       | 海 外 | 1,040,837 | 1,018,246 | 1,087,323 | 1,172,746 | 1,301,889 |

## 最近の業績(連結ベース) (2016年3月31日時点)

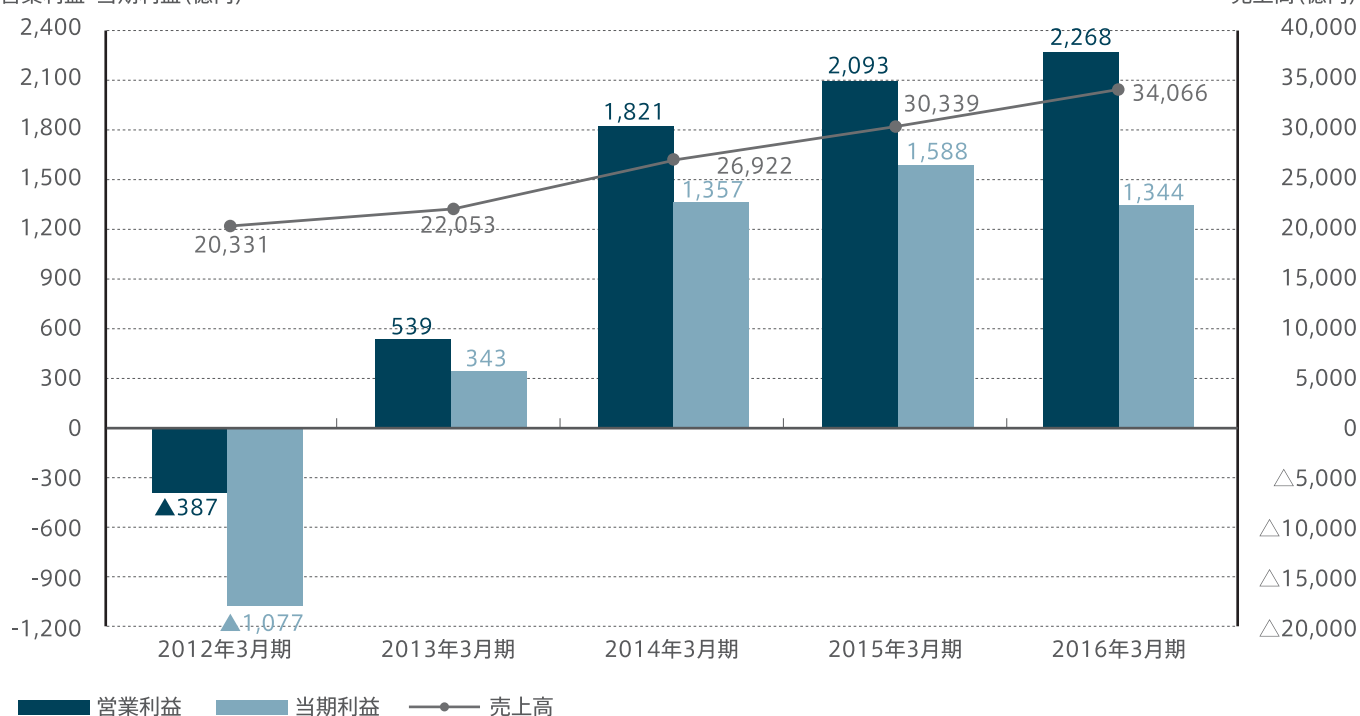
| 項目          | 単位       | 2012年3月期<br>('11.4~'12.3) | 2013年3月期<br>('12.4~'13.3) | 2014年3月期<br>('13.4~'14.3) | 2015年3月期<br>('14.4~'15.3) | 2016年3月期<br>('15.4~'16.3) |
|-------------|----------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 売上高         | 国内 (億円)  | 5,602                     | 5,880                     | 6,557                     | 6,174                     | 6,609                     |
|             | 海外 (億円)  | 14,729                    | 16,173                    | 20,365                    | 24,165                    | 27,457                    |
| 売上高         | (億円)     | 20,331                    | 22,053                    | 26,922                    | 30,339                    | 34,066                    |
| 営業利益        | (億円)     | △ 387                     | 539                       | 1,821                     | 2,029                     | 2,268                     |
| 経常利益        | (億円)     | △ 368                     | 331                       | 1,407                     | 2,126                     | 2,236                     |
| 税引前当期利益     | (億円)     | △ 553                     | 391                       | 974                       | 2,093                     | 1,670                     |
| 当期利益        | (億円)     | △ 1,077                   | 343                       | 1,357                     | 1,588                     | 1,344                     |
| 設備投資額       | (億円)     | 780                       | 772                       | 1,332                     | 1,310                     | 892                       |
| 減価償却費       | (億円)     | 688                       | 600                       | 577                       | 689                       | 790                       |
| 研究開発費       | (億円)     | 917                       | 899                       | 994                       | 1,084                     | 1,166                     |
| 総資産         | (億円)     | 19,159                    | 19,786                    | 22,460                    | 24,733                    | 25,484                    |
| 有利子負債残高     | (億円)     | 7,781                     | 7,190                     | 7,427                     | 7,010                     | 6,171                     |
| 純有利子負債残高    | (億円)     | 3,008                     | 2,741                     | 2,630                     | 1,719                     | 484                       |
| フリーキャッシュフロー | (億円)     | △ 794                     | 87                        | 163                       | 1,089                     | 1,547                     |
| 生産台数        | 国内 (千台)  | 847                       | 879                       | 973                       | 919                       | 989                       |
|             | 海外 (千台)  | 338                       | 321                       | 296                       | 456                       | 582                       |
|             | (千台)     | 1,185                     | 1,200                     | 1,269                     | 1,375                     | 1,571                     |
| 販売台数        | 国内 (千台)  | 206                       | 216                       | 244                       | 225                       | 232                       |
|             | 北米 (千台)  | 372                       | 372                       | 391                       | 425                       | 438                       |
|             | 欧州 (千台)  | 183                       | 172                       | 207                       | 229                       | 257                       |
|             | 中国 (千台)  | 223                       | 175                       | 196                       | 215                       | 235                       |
|             | その他 (千台) | 263                       | 300                       | 293                       | 303                       | 372                       |
|             | (千台)     | 1,247                     | 1,235                     | 1,331                     | 1,397                     | 1,534                     |

(注) フリーキャッシュフローは、営業活動によるキャッシュフローと投資活動によるキャッシュフローの合計。

## 業績推移

営業利益・当期利益(億円)

売上高(億円)





# 役員紹介 (2016年9月1日時点)

## 取締役



代表取締役会長  
金井 誠太 (かない せい太)



代表取締役  
小飼 雅道 (こがい まさみち)



代表取締役  
丸本 明 (まるもと あきら)



取締役  
原田 裕司 (はらだ ゆうじ)



取締役  
中峯 勇二 (なかみね ゆうじ)



取締役  
稲本 信秀 (いなもと のぶひで)



取締役  
菖蒲田 清孝 (しょうぶだ きよたか)



取締役  
藤原 清志 (ふじわら きよし)



取締役  
坂井 一郎 (さかい いちろう)



取締役  
城納 一昭 (じょうのう かずあき)

## 監査役

### 監査役(常勤)

栃尾 信義 (とちお のぶよし)  
河村 裕章 (かわむら ひろふみ)

### 監査役

赤岡 功 (あかおか いさお)  
平澤 正英 (ひらさわ まさひで)  
堀田 隆夫 (ほった たかお)

## 執行役員 (注) ※印は取締役との兼務を示す。

|                                    |                                   |   |
|------------------------------------|-----------------------------------|---|
| ※ 社 長 兼 C E O<br>( 最 高 経 営 責 任 者 ) | 小飼 雅道(こがい まさみち)                   |   |
| ※ 副 社 長 執 行 役 員                    | 丸本 明(まるもと あきら)                    | 社長補佐、米州事業・企画領域統括  |
| ※ 専 務 執 行 役 員                      | 原田 裕司(はらだ ゆうじ)                    | 財務統括、法人販売統括補佐、CSR・環境・グローバル広報担当  |
|                                    | 中峯 勇二(なかみね ゆうじ)                   | 欧州・豪亜・中ア・新興国事業統括  |
|                                    | 稲本 信秀(いなもと のぶひで)                  | 中国事業・国内営業・法人販売統括、グローバル監査担当  |
|                                    | 菖蒲田 清孝(しょうぶだ きよたか)                | 品質・ブランド推進・生産・物流統括   |
|                                    | 藤原 清志(ふじわら きよし)                   | 研究開発・MDI統括、コスト革新担当  |
| 専 務 執 行 役 員                        | ジェフリー・エイチ・ガイトン(Jeffrey H. Guyton) | ブランド推進統括補佐、マツダモーターヨーロッパGmbH社長兼CEO                                     |
|                                    | 毛籠 勝弘(もう まさひろ)                    | マーケティング戦略統括、ブランド推進統括補佐、マツダモーターオブアメリカ, Inc.(マツダノースアメリカンオペレーションズ)社長兼CEO |
|                                    | 古賀 亮(こが あきら)                      | 経営企画・収益管理・グローバルITソリューション・MDI担当  |
| 常 務 執 行 役 員                        | 人見 光夫(ひとみ みつお)                    | 技術研究所・パワートレイン開発・統合制御システム開発担当  |
|                                    | 圓山 雅俊(まるやま まさとし)                  | グローバル生産・グローバル物流担当   |
|                                    | 藤賀 猛(ふじが たけし)                     | グローバル人事・安全担当  |
|                                    | 藤川 和久(ふじかわ かずひさ)                  | グローバル購買担当、コスト革新担当補佐   |
|                                    | 福原 和幸(ふくはら かずゆき)                  | 国内営業・法人販売担当、マツダ中販株式会社代表取締役社長  |
|                                    | 前田 育男(まえだ いくお)                    | デザイン・ブランドスタイル担当   |
|                                    | 藤本 哲也(ふじもと てつや)                   | 財務担当、企画担当補佐   |
| 執 行 役 員                            | 渡部 宣彦(わたべ のぶひこ)                   | 中国事業担当、マツダ(中国)企業管理有限公司董事長   |
|                                    | 西山 雷大(にしやま らいた)                   | 東京本社統括、渉外担当、企画・広報担当補佐   |
|                                    | 川上 英範(かわかみ ひでのり)                  | グローバル生産担当補佐、防府工場長   |
|                                    | 井上 寛(いのうえ ひろし)                    | 新興国事業(除く中南米)担当、ASEAN事業室長、マツダ・サウス・イースト・アジア,Ltd.社長                      |
|                                    | 吉原 誠(よしはら まこと)                    | 秘書・総務・法務・コンプライアンス・リスクマネジメント・病院担当、総務・法務室長                              |
|                                    | 青山 裕大(あおやま やすひろ)                  | 営業領域総括、ブランド推進・グローバルマーケティング・カスタマーサービス担当                                |
|                                    | 廣瀬 一郎(ひろせ いちろう)                   | パワートレイン開発本部長  |
|                                    | 向井 武司(むかい たけし)                    | グローバル品質担当   |
|                                    | 水谷 智春(みずたに ちはる)                   | マツダモトールマヌファクチャリングデメヒコS.A. de C.V.(マツダデメヒコビークルオペレーション)社長兼CEO           |
|                                    | 相原 真志(あいはら まさし)                   | 経営企画本部長   |
|                                    | 梅下 隆一(うめした りゅういち)                 | カスタマーサービス本部長  |



# 主な子会社・関連会社

## 連結子会社 58社 (2016年3月31日時点)

| 会社名                                   | 所在国      | 所有率    | 業務内容                            |
|---------------------------------------|----------|--------|---------------------------------|
| マツダ中販(株)                              | 日本       | 100.0% | 中古自動車販売                         |
| (株)マツダオートザム                           | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダモーターインターナショナル(株)                   | 日本       | 100.0% | 自動車販売                           |
| マツダエース(株)                             | 日本       | 100.0% | 警備防災および印刷受注                     |
| マツダロジスティクス(株)                         | 日本       | 100.0% | 自動車および部品運送                      |
| 倉敷化工(株)                               | 日本       | 75.0%  | 自動車部品製造販売                       |
| (株)マツダE&T                             | 日本       | 100.0% | 特装車の架装および販売                     |
| マツダパーツ(株)                             | 日本       | 100.0% | 自動車部品販売                         |
| (株)函館マツダ                              | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| (株)東北マツダ                              | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| (株)福島マツダ                              | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| (株)北関東マツダ                             | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| (株)甲信マツダ                              | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| (株)関東マツダ                              | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| 静岡マツダ(株)                              | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| 東海マツダ販売(株)                            | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| (株)北陸マツダ                              | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| (株)京滋マツダ                              | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| (株)関西マツダ                              | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| (株)西四国マツダ                             | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| (株)九州マツダ                              | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| (株)南九州マツダ                             | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| 沖縄マツダ販売(株)                            | 日本       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダモーターオブアメリカ, Inc.                   | 米国       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダカナダ Inc.                           | カナダ      | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダモトールデメヒコS. de R.L. de C.V.         | メキシコ     | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダセルヴィシオスデメヒコS. de R.L. de C.V.      | メキシコ     | 100.0% | マツダモトールデメヒコに対する人材サービス           |
| マツダモトールマヌファクトゥリングデメヒコS.A. de C.V.     | メキシコ     | 70.0%  | 自動車製造販売                         |
| マツダモトールオペラシオネスデメヒコS.A. de C.V.        | メキシコ     | 70.0%  | マツダモトールマヌファクトゥリングデメヒコに対する人材サービス |
| マツダモータース(ドイツランド) GmbH                 | ドイツ      | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V.               | ベルギー     | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダモーターヨーロッパ GmbH                     | ドイツ      | 100.0% | 欧州市場の事業統括                       |
| マツダオートモビルフランスS.A.S.                   | フランス     | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダモータースUK Ltd.                       | イギリス     | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダスイスS.A.                            | スイス      | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダモトールデポルトガルLda.                     | ポルトガル    | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダモーターイタリア, S.r.l.                   | イタリア     | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダオートモービルズエスパーニャ, S.A.               | スペイン     | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダオーストリア GmbH                        | オーストリア   | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダモーターロシア, OOO                       | ロシア      | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダオーストラリア Pty. Ltd.                  | オーストラリア  | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダモータースオブニュージーランド Ltd.               | ニュージーランド | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダセールス(タイランド) Co., Ltd.              | タイ       | 96.1%  | 自動車および部品販売                      |
| マツダパワートレインマニファクチャリング(タイランド) Co., Ltd. | タイ       | 100.0% | 自動車部品製造販売                       |
| PTマツダモーターインドネシア                       | インドネシア   | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダマレーシア Sdn. Bhd.                    | マレーシア    | 70.0%  | 自動車製造(委託生産)・販売                  |
| マツダ(中国)企業管理有限公司                       | 中国       | 100.0% | 中国市場の事業統括                       |
| マツダサザンアフリカ(Pty) Ltd                   | 南アフリカ    | 70.0%  | 自動車および部品販売                      |
| 台湾マツダ汽車股份有限公司                         | 台湾       | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| マツダデコロンビアS.A.S.                       | コロンビア    | 100.0% | 自動車および部品販売                      |
| その他 8社                                | —        | —      | —                               |

## 持分法適用関連会社 13社 (2016年3月31日時点)

| 会社名                        | 所在国 | 所有率   | 業務内容       |
|----------------------------|-----|-------|------------|
| トーヨーエイトテック(株)              | 日本  | 30.0% | 工作機械製造販売   |
| (株)日本クライメイトシステムズ           | 日本  | 33.3% | 自動車部品製造販売  |
| ヨシワ工業(株)                   | 日本  | 33.3% | 自動車部品製造販売  |
| (株)サンフレッチェ広島               | 日本  | 17.1% | プロサッカー球団運営 |
| (株)マツダプロセッシング中国            | 日本  | 29.0% | 納車点検・架装    |
| SMMオートファイナンス(株)            | 日本  | 49.0% | 自動車販売金融事業  |
| MCMエネルギーサービス(株)            | 日本  | 40.0% | 電力・蒸気の供給事業 |
| マツダ部品広島販売(株)               | 日本  | 33.3% | 自動車部品販売    |
| マツダソラースマヌファクトゥリングルースLLC    | ロシア | 50.0% | 自動車製造販売    |
| オートアライアンス(タイランド) Co., Ltd. | タイ  | 50.0% | 自動車製造販売    |
| 長安マツダ汽車有限公司                | 中国  | 50.0% | 自動車製造販売    |
| 長安フォードマツダエンジン有限公司          | 中国  | 25.0% | 自動車部品製造販売  |
| 一汽マツダ汽車販売有限公司              | 中国  | 40.0% | 自動車および部品販売 |

研究開発・地域別の活動



マツダ本社



本社工場



防府工場 (西浦地区)



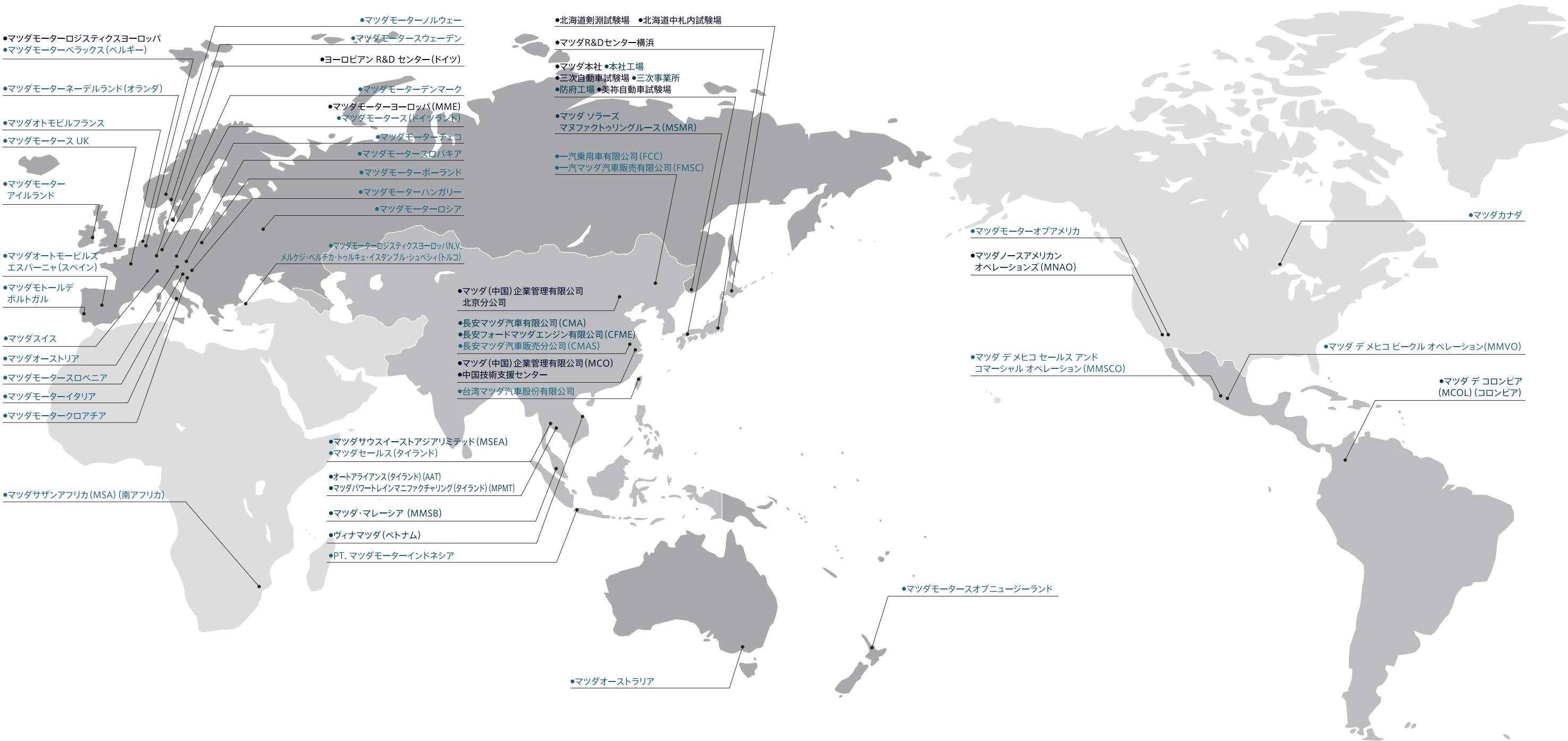
長安マツダ汽車



オートアライアンス (タイランド)



マツダ デメヒコ ビークル オペレーション



グローバル販売台数

1,534,239台

グローバルでの販売会社数

370社

従業員数 (連結)

46,398人

営業利益 (連結)

2,268億円

当期純利益 (連結)

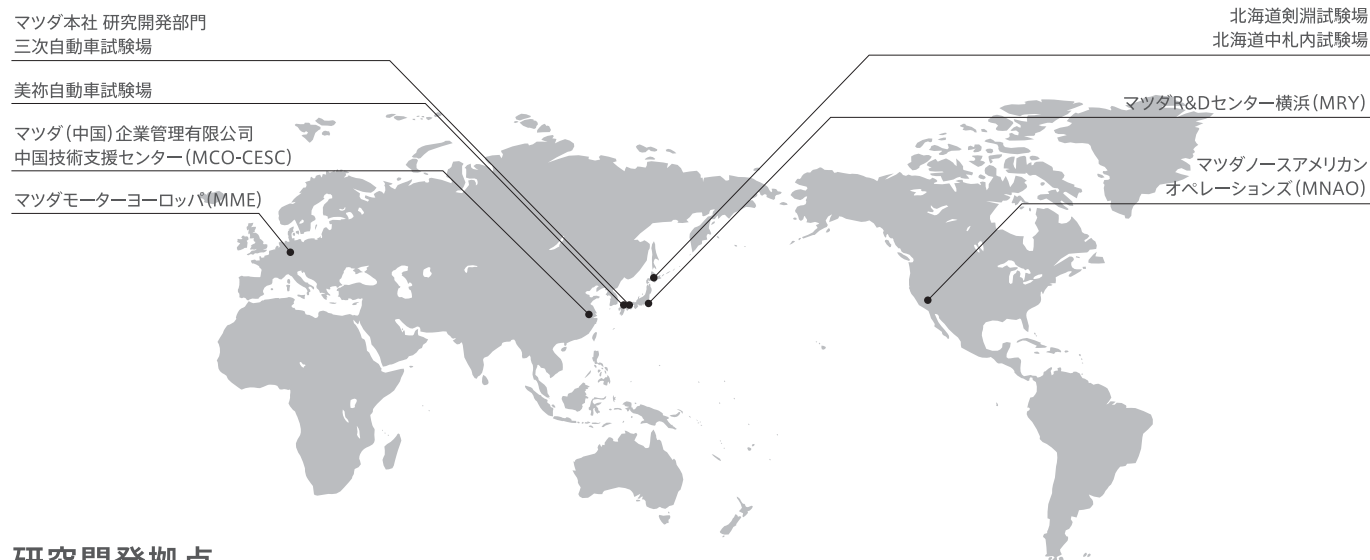
1,344億円

■ 事業統括・研究開発  
■ 生産拠点  
■ 販売拠点

※ 数値はすべて  
2016年3月期の実績



# 研究開発



## 研究開発拠点

世界の市場動向、先端的な技術動向を迅速かつ的確に把握し、それぞれの市場特性にマッチした個性的でイノベティブな商品開発を推進しています。そのため、日米欧中に研究開発拠点を置いています。

|     | 名 称  | 所在地                   | 主な研究内容   |
|-----|--|-----------------------|--|
| 日 本 | 本社 研究開発部門                                      | 広島県安芸郡府中町             | ・商品、技術企画<br>・デザイン開発<br>・商品開発および育成<br>・重要新技術の先行研究                 |
|     | マツダR&Dセンター横浜 (略称: MRY)                         | 神奈川県横浜市               | ・先行商品の企画<br>・重要新技術の先行研究  |
| 米 国 | マツダノースアメリカン<br>オペレーションズ (略称: MNAO) ※1          | カリフォルニア州アーバイン         | ・北米市場における技術／市場動向などの調査、研究<br>・北米市場におけるデザインの開発                     |
|     |  | ミシガン州フラットロック          | ・北米市場における商品適合性評価   |
| 欧 州 | マツダモーターヨーロッパ (略称: MME)                         | ドイツ ヘッセン州<br>オーバーヴァゼル | ・欧州市場における技術／市場動向などの調査、研究<br>・欧州市場におけるデザインの開発<br>・欧州市場における商品適合性評価 |
| 中 国 | マツダ (中国) 企業管理有限公司<br>中国技術支援センター (略称: MCO-CESC) | 上海市                   | ・中国市場における技術／市場動向などの調査、研究   |

※1 「マツダモーターオブアメリカ, Inc.」「マツダモトールデメヒコS. de R.L. de C.V.」を総称して「マツダノースアメリカンオペレーションズ (MNAO)」と呼んでいる。

## 総合自動車試験場

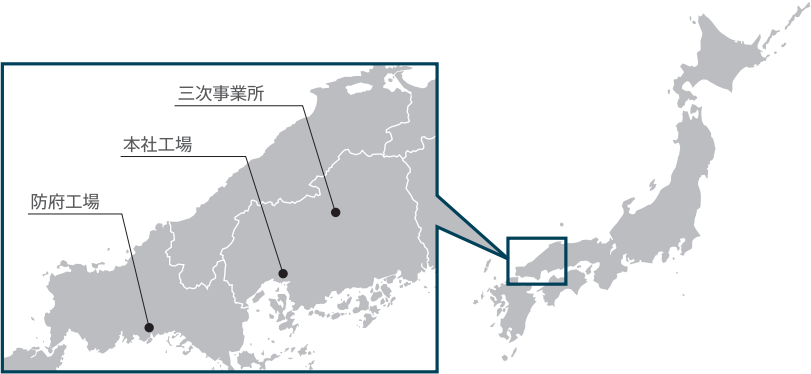
| 名 称       | 所在地        | 開 設      | 土地面積    | 主な研究内容  |
|-----------|------------|----------|---------|---|
| 三次自動車試験場  | 広島県三次市     | 1965年06月 | 1,702千㎡ | 新商品の基本性能開発・育成の拠点として、クルマに要求される、走る・曲がる・止まるの走行テストを実施するとともに、大型の試験設備を駆使して、安全技術、環境技術の開発に取り組んでいます。 |
| 美祢自動車試験場  | 山口県美祢市     | 2006年05月 | 753千㎡   | 三次自動車試験場がないテストコースを新設し、操縦安定性の限界テスト等、車の商品性向上に寄与しています。   |
| 北海道剣淵試験場  | 北海道上川郡剣淵町  | 1990年01月 | 4,700千㎡ | 積雪路面での4WD・ABS・TCS※2・DSC※3など、安全走行システムの開発テストや、氷・雪害などに対する技術開発・商品性能向上等、寒冷地特有のテストを行っています。        |
| 北海道中札内試験場 | 北海道河西郡中札内村 | 2002年01月 | 260千㎡   | さまざまな気象環境条件の下での、車両の性能を開発するための北海道内2番目の試験場です。主に、凍結路面でのABS・TCS・DSCなどの安全走行システムの開発テストを行っています。    |

※2 TCS (トラクションコントロールシステム) : 路面、および走行状況に即応して駆動力を最適化する機構。

※3 DSC (ダイナミック・スタビリティ・コントロール) : 4輪ABS (アンチロックブレーキシステム) とトラクションコントロールの機能を統合し、エンジン出力制御と4輪個別の制動力を最適に制御することによって、クルマの横滑り防止を図る機構である。滑りやすい路面でのコーナリングや、危険回避のための急ハンドル操作時などにも、安定した走行姿勢を保つ。

# 地域別の活動／日本

- 1931年に3輪トラックの生産を開始し、自動車事業をスタートしました。1960年には軽自動車「R360クーペ」の生産を開始し、乗用車部門へ本格的に参入しました。
- 広島と防府の2拠点に工場を持ち、独自のフレキシブルな高品質・同期生産ラインを構築しています。



## 日本での生産活動

### 生産拠点概要

| 所在地           | 名 称   |      | 地 区                    | 生産品目   | 生産能力   | 操業開始     | 土地面積     |
|---------------|-------|------|------------------------|--|--------|----------|----------|
| 広島県安芸郡<br>府中町 | 本社工場  | 宇品   | 本社                     | ガソリンレシプロエンジン、自動車用手動変速機                                       | 56万台／年 | 1931年 3月 | 551千㎡    |
|               |       |      | 宇品第1(U1)工場             | CX-3、CX-5、CX-9※1、ロードスター、プレマシー、ビアンテ、ボンゴ、フィアット・クライスラー社向けスポーツカー |        | 1966年11月 | 1,685千㎡  |
|               |       |      | 宇品第2(U2)工場             | プレマシー、CX-5   |        | 1972年12月 |          |
|               |       |      | ガソリンレシプロエンジン、ディーゼルエンジン | 1964年12月   |        |          |          |
| 広島県三次市        | 三次事業所 |      |                        | ガソリンレシプロエンジン   |        | 1974年 5月 | 1,702千㎡  |
| 山口県防府市        | 防府工場  | 西浦   | 防府第1(H1)工場             | アクセラ、デミオ   | 42万台／年 | 1982年 9月 | 792千㎡    |
|               |       |      | 防府第2(H2)工場※2           | アテンザ   |        | 1992年 2月 |          |
|               |       |      | 中関                     | 自動車用手動変速機、自動変速機  |        |          | 1981年12月 |
| プレス工業株式会社     |       | 尾道工場 |                        | ボンゴトラック  |        |          |          |

(注) 本社地区には、本社周辺の所在地(刈崎地区)を含む。三次事業所は自動車試験場およびエンジン工場用地の合計。

※1 輸出用のみ。

※2 1直操業

2016年3月期 生産台数

989,401台

2016年3月期 乗用車 生産台数

975,177台

2016年3月期 商用車 生産台数

14,224台

### 車種別国内生産台数

(2016年3月31日時点)(台)

| 車 名         |              | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 |
|-------------|--------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 乗<br>用<br>車 | デミオ          | 165,594  | 124,287  | 104,195  | 100,347  | 69,694   |
|             | アクセラ         | 317,899  | 291,181  | 291,414  | 232,567  | 215,140  |
|             | プレマシー        | 89,180   | 57,585   | 48,459   | 37,211   | 14,424   |
|             | アテンザ         | 48,795   | 88,017   | 143,162  | 143,610  | 139,163  |
|             | MPV          | 6,501    | 2,524    | 1,615    | 788      | 631      |
|             | CX-3         | —        | —        | —        | 16,504   | 142,800  |
|             | CX-5         | 46,699   | 226,606  | 308,720  | 316,288  | 321,389  |
|             | CX-7         | 77,986   | 3,081    | 500      | —        | —        |
|             | CX-9         | 43,075   | 40,652   | 31,921   | 37,893   | 22,378   |
|             | ロードスター       | 14,406   | 15,133   | 10,778   | 10,008   | 44,239   |
|             | RX-8         | 1,716    | 1,224    | —        | —        | —        |
|             | ベリーサ         | 8,612    | 4,710    | 3,548    | 1,248    | 663      |
|             | ビアンテ         | 10,562   | 8,626    | 11,898   | 7,148    | 4,656    |
|             | 計            | 831,025  | 863,626  | 956,210  | 903,612  | 975,177  |
| 商<br>用<br>車 | ボンゴ(バン・トラック) | 15,549   | 15,503   | 16,323   | 15,793   | 14,224   |
|             | 計            | 15,549   | 15,503   | 16,323   | 15,793   | 14,224   |
| 総合計         |              | 846,574  | 879,129  | 972,533  | 919,405  | 989,401  |
| 内<br>数      | ロータリーエンジン搭載車 | 1,716    | 1,224    | —        | —        | —        |
|             | ディーゼルエンジン搭載車 | 46,228   | 95,852   | 135,464  | 161,714  | 192,677  |

# 地域別の活動／日本

## 日本での販売活動

### 販売会社数および店舗数 (2016年3月31日時点)

| 販売会社数 | 店舗数   |
|-------|-------|
| 229   | 1,004 |

2016年3月期 販売台数

232,350台

2016年3月期 乗用車 販売台数

209,438台

2016年3月期 商用車 販売台数

22,912台

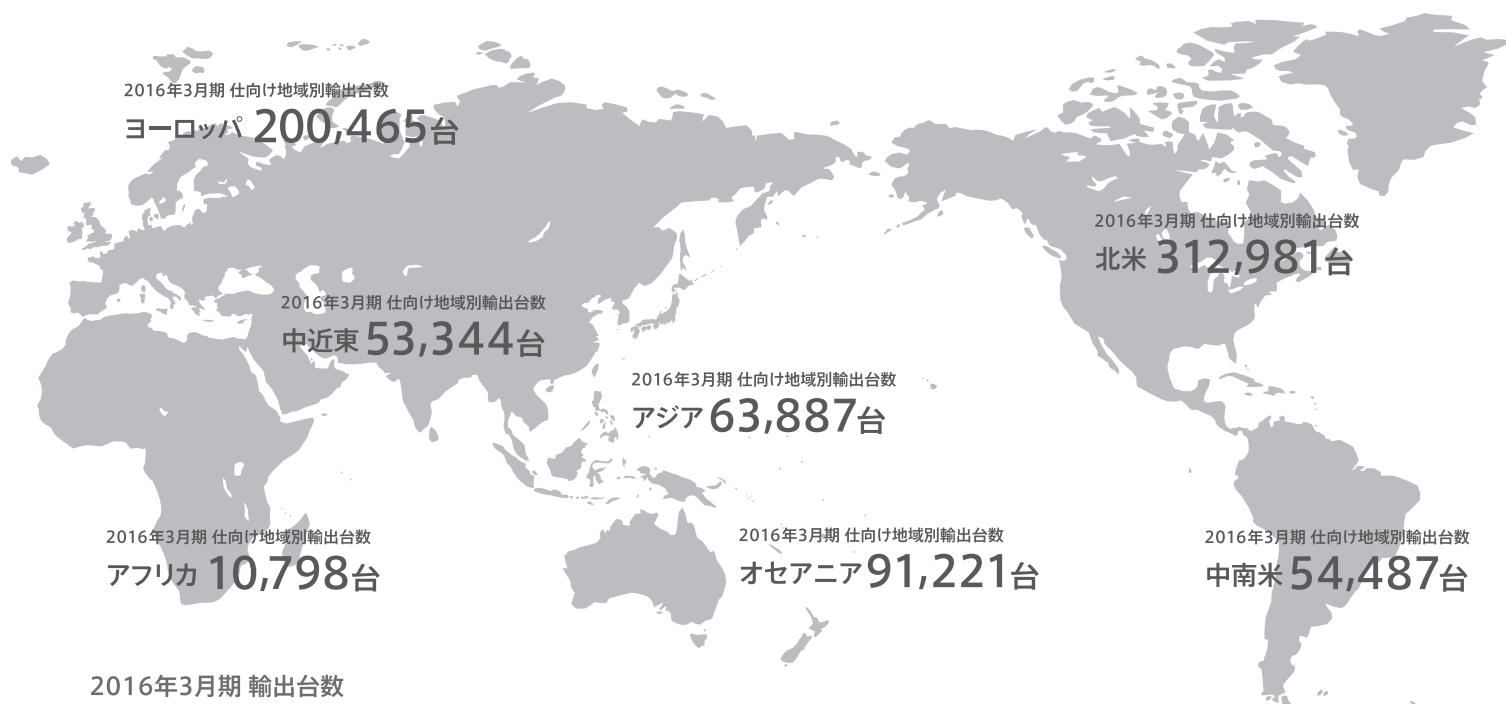
### 車名別販売台数

(2016年3月31日時点) (台)

| 車 名         |                   | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 |
|-------------|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 乗<br>用<br>車 | デミオ               | 66,110   | 52,691   | 40,800   | 62,920   | 66,176   |
|             | アクセラ              | 20,287   | 14,040   | 31,827   | 33,217   | 23,486   |
|             | ブレマシー             | 20,524   | 14,389   | 17,540   | 8,802    | 6,527    |
|             | アテンザ              | 4,179    | 11,149   | 20,417   | 11,503   | 10,407   |
|             | MPV               | 4,760    | 2,259    | 1,203    | 480      | 467      |
|             | CX-3              | —        | —        | —        | 7,992    | 30,479   |
|             | CX-5              | 5,307    | 40,762   | 39,073   | 27,497   | 26,545   |
|             | CX-7              | 416      | 19       | 0        | 0        | 0        |
|             | ロードスター            | 1,168    | 888      | 722      | 462      | 10,457   |
|             | RX-8              | 1,509    | 1,241    | 42       | 2        | 1        |
|             | ベリーサ              | 7,793    | 5,134    | 3,979    | 1,446    | 682      |
|             | ビアンテ              | 10,117   | 7,111    | 9,355    | 4,165    | 2,893    |
|             | 登録車               | 142,170  | 149,683  | 164,958  | 158,486  | 178,120  |
|             | キャロル              | 10,579   | 9,592    | 9,625    | 8,277    | 7,104    |
|             | AZ-ワゴン/フレア        | 23,805   | 23,191   | 19,146   | 11,439   | 8,138    |
|             | AZ-オフロード          | 498      | 394      | 373      | 2        | 0        |
|             | フレアクロスオーバー        | —        | —        | 2,394    | 10,314   | 6,435    |
|             | スクラムワゴン           | 2,988    | 2,144    | 1,641    | 1,131    | 1,601    |
|             | フレアワゴン            | —        | 5,829    | 17,974   | 11,212   | 8,040    |
|             | 軽自動車              | 37,870   | 41,150   | 51,153   | 42,375   | 31,318   |
| 計           |                   | 180,040  | 190,833  | 216,111  | 200,861  | 209,438  |
| 商<br>用<br>車 | ファミリアバン           | 2,651    | 2,529    | 2,232    | 2,195    | 1,966    |
|             | ボンゴ(バン・トラック)      | 9,272    | 9,887    | 10,560   | 9,377    | 9,041    |
|             | ボンゴブローニイ(バン・トラック) | 25       | —        | —        | —        | —        |
|             | タイタン・タイタンダッシュ     | 2,230    | 2,233    | 2,597    | 2,389    | 2,268    |
|             | 登録車               | 14,178   | 14,649   | 15,389   | 13,961   | 13,275   |
|             | スクラム(バン・トラック)     | 11,320   | 10,775   | 12,098   | 9,721    | 9,637    |
|             | 軽自動車              | 11,320   | 10,775   | 12,098   | 9,721    | 9,637    |
| 計           |                   | 25,498   | 25,424   | 27,487   | 23,682   | 22,912   |
| 総 合 計       |                   | 205,538  | 216,257  | 243,598  | 224,543  | 232,350  |



## 輸出活動



## 仕向け地域別輸出台数

(2016年3月31日時点) (台)

|       | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 北米    | 278,911  | 342,833  | 345,138  | 296,023  | 312,981  |
| ヨーロッパ | 173,928  | 165,874  | 203,144  | 200,036  | 200,465  |
| オセアニア | 90,660   | 97,586   | 97,871   | 86,801   | 91,221   |
| 中近東   | 22,746   | 21,228   | 34,541   | 50,438   | 53,344   |
| アジア   | 35,323   | 31,958   | 44,116   | 50,034   | 63,887   |
| アフリカ  | 4,420    | 4,429    | 4,711    | 8,165    | 10,798   |
| 中南米   | 47,859   | 38,700   | 61,279   | 46,372   | 54,487   |
| 総 合 計 | 653,847  | 702,608  | 790,800  | 737,869  | 787,183  |

## 車名別輸出台数

(2016年3月31日時点) (台)

| 車 名    | 海外名           | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 |
|--------|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| デミオ    | Mazda2        | 95,631   | 70,952   | 66,123   | 38,139   | 914      |
| アクセラ   | Mazda3        | 291,042  | 280,067  | 259,646  | 199,302  | 191,628  |
| プレマシー  | Mazda5        | 49,083   | 39,915   | 29,113   | 28,154   | 5,469    |
| アテンザ   | Mazda6        | 44,467   | 66,816   | 120,515  | 128,713  | 128,401  |
| MPV    | Mazda8        | 1,206    | 867      | 464      | 315      | 140      |
| CX-3   | Mazda CX-3    | —        | —        | —        | 6,277    | 108,229  |
| CX-5   | Mazda CX-5    | 38,953   | 183,533  | 269,737  | 286,007  | 294,104  |
| CX-7   | Mazda CX-7    | 77,581   | 3,132    | 580      | 0        | 0        |
| CX-9   | Mazda CX-9    | 42,722   | 40,640   | 31,795   | 37,766   | 23,051   |
| ロードスター | Mazda MX-5 ※2 | 13,026   | 14,234   | 10,134   | 9,690    | 32,135   |
| RX-8   | Mazda RX-8    | 136      | 19       | —        | —        | —        |
| ビアンテ   | Mazda Biente  | —        | 2,433    | 2,693    | 3,506    | 3,112    |
| 総 合 計  |               | 653,847  | 702,608  | 790,800  | 737,869  | 787,183  |

(注) 海外生産用部品 (KDセット) を除く。

※2 北米向けには「Miata」のサブネームがつく。

# 地域別の活動／北米



- 1968年にカナダ、1971年に米国にて現地法人を設立し、北米でのマツダ車の販売を開始しました。
- メキシコでは、住友商事との合併生産拠点を2014年1月に操業を開始しました。

## 統括拠点

(2016年3月31日現在)

| 国／地域名 | 名 称  | 所在地           | 設立時期     | 従業員数 | 主な業務内容   | 資本構成 |
|-------|--|---------------|----------|------|--|------|
| 米 国   | マツダノースアメリカンオペレーションズ※<br>① Mazda North American Operations (略称: MNAO) | カリフォルニア州アーバイン | 1997年10月 | —    | 自動車・部品の卸売販売、北米市場における技術動向などの調査・研究、デザインの開発、商品適合性評価 | —    |

※ 「マツダモーターオブアメリカ, Inc.」「マツダモートルデメヒコス. de R.L. de C.V.」を総称して「マツダノースアメリカンオペレーションズ (MNAO)」と呼んでいる。

## 生産拠点

(2016年3月31日現在)

| 国／地域名 | 名 称   | 所在地          | マツダ車<br>生産開始時期 | 従業員数   | 主な生産車種   | 資本構成                |
|-------|---|--------------|----------------|--------|----------|---------------------|
| メキシコ  | ② マツダデメヒコビークルオペレーション※<br>Mazda de Mexico Vehicle Operation (略称: MMVO) | グアナファト州サラマンカ | 2014年1月        | 5,200名 | デミオ、アクセラ | マツダ 70%<br>住友商事 30% |

※ 「マツダモートルマフファクトゥリングデメヒコス.A. de C.V.」および「マツダモートルオペラシオネスデメヒコス.A. de C.V.」の総称

## 販売拠点

(2016年3月31日現在)

| 国／地域名 | 名 称   | 所在地            | 設立時期     | 従業員数 | 資本構成     |
|-------|---|----------------|----------|------|----------|
| 米 国   | マツダモーターオブアメリカ, Inc.<br>Mazda Motor of America, Inc.                           | カリフォルニア州アーバイン  | 1971年 2月 | 432名 | マツダ 100% |
| カナダ   | マツダカナダ, Inc.<br>Mazda Canada Inc.   | オンタリオ州リッチモンドヒル | 1968年 7月 | 174名 | マツダ 100% |
| メキシコ  | マツダデメヒコ セールスアンドコマーシャルオペレーション※<br>Mazda de Mexico Sales & Commercial Operation | メキシコシティ        | 2004年12月 | 65名  | マツダ 100% |

※ 「マツダモートルデメヒコス de R.L de C.V.」および「マツダセルヴィシオスデメヒコス. de R.L. de C.V.」の総称

2016年3月期 生産台数

213,088台

2016年3月期 販売台数

435,732台

2016年3月期 生産台数

メキシコ 213,088台

上記台数は2016年3月31日時点のものです。

2016年3月期 販売台数

米国 305,783台

カナダ 71,032台

メキシコ 58,917台

上記台数は2016年3月31日時点のものです。



マツダメヒコビークルオペレーション (MMVO) 外観



Mazda3 (メキシコ生産モデル)

## 生産台数

(2016年3月31日時点) (台)

| 国/地域名 | 名 称                       | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 |
|-------|---------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 米 国   | オートアライアンス・インターナショナル, Inc. | 47,101   | 19,101   | —        | —        | —        |
|       | フォード カンザシティ工場             | 1,523    | —        | —        | —        | —        |
|       | 合 計                       | 48,624   | 19,101   | 0        | 0        | 0        |
| メキシコ  | MMVO                      | 0        | 0        | 10,007   | 140,089  | 213,088  |
| 総 合 計 |                           | 48,624   | 19,101   | 10,007   | 140,089  | 213,088  |

(注) マツダブランド名で生産された台数を示す。

## 販売台数

(2016年3月31日時点) (台)

| 市 場  | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 米 国  | 267,891  | 273,307  | 283,721  | 305,788  | 305,783  |
| カナダ  | 71,783   | 72,136   | 69,685   | 71,582   | 71,032   |
| メキシコ | 30,071   | 25,283   | 34,759   | 45,366   | 58,917   |
| 合 計  | 369,745  | 370,726  | 388,165  | 422,736  | 435,732  |

## 市場およびディストリビューター数

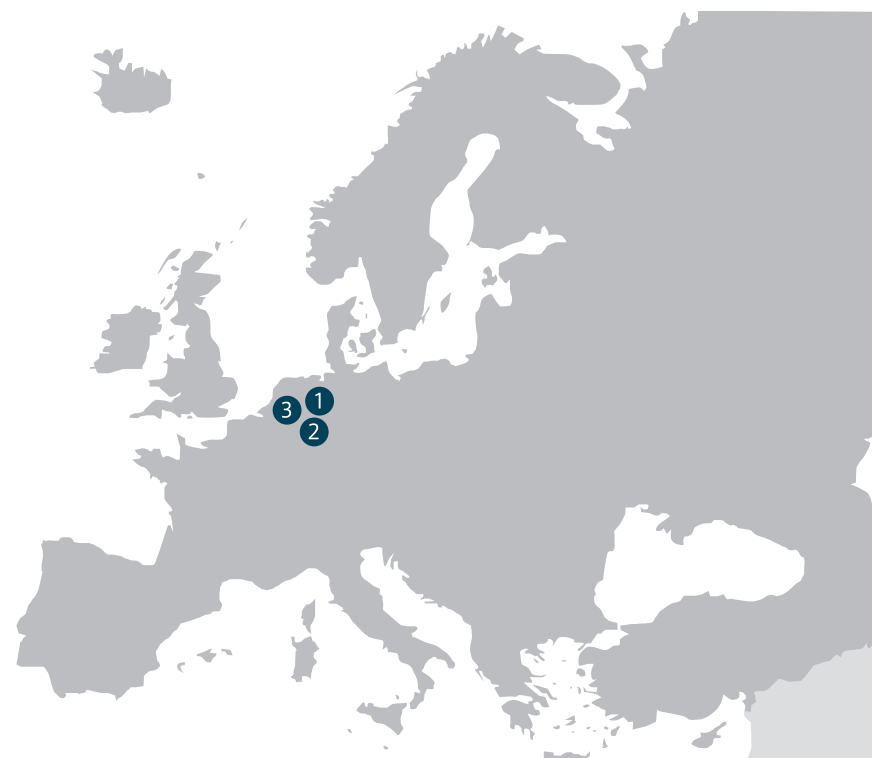
(2016年3月31日時点)

| 市 場  | 市場数 | ディストリビューター数 | 拠点数 |
|------|-----|-------------|-----|
| 米 国  | 1   | 1           | 630 |
| カナダ  | 1   | 1           | 165 |
| メキシコ | 1   | 1           | 54  |
| 合 計  | 3   | 3           | 849 |

## 主要販売車種

| 市 場                 | 米国 | カナダ | メキシコ |
|---------------------|----|-----|------|
| Mazda2 (日本名: デミオ)   |    |     | ●    |
| Mazda3 (日本名: アクセラ)  | ●  | ●   | ●    |
| Mazda5 (日本名: プレマシー) | ●  | ●   |      |
| Mazda6 (日本名: アテンザ)  | ●  | ●   | ●    |
| CX-3                | ●  | ●   | ●    |
| CX-5                | ●  | ●   | ●    |
| CX-9                | ●  | ●   | ●    |
| MX-5 (日本名: ロードスター)  | ●  | ●   | ●    |
| BT-50               |    |     |      |

# 地域別の活動／欧州



- 1967年に、欧州でマツダ車の販売を開始し、1972年にドイツで現地法人を設立しました。
- 2000年頃より欧州主要国で販売網の再構築に着手し、各国のディストリビューターをマツダ直轄下に置きました。効率的な販売・マーケティング活動や、欧州での一貫した戦略・施策を推し進めています。



## 統括拠点

(2016年3月31日時点)

| 国／地域名 | 名 称  | 所在地                         | 設立時期     | 従業員数 | 主な業務内容       | 資本構成                                 |
|-------|--|-----------------------------|----------|------|--------------|--------------------------------------|
| ドイツ   | ① マツダモーターヨーロッパGmbH<br>Mazda Motor Europe GmbH (略称:MME)   | ノルトラインウエスト<br>ファーレン州レバークーゼン | 1998年 3月 | 304名 | 事業所<br>販売    | マツダモーター<br>ロジスティクス<br>ヨーロッパN.V. 100% |
|       | ② (European R&D Centre)  | ヘッセン州オーバーヴァゼル               | 1987年12月 |      | 研究開発         |                                      |
| ベルギー  | ③ マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V.<br>Mazda Motor Logistics Europe N.V.<br>(Vehicles and Parts Distribution Center) | アントワープ州ウィルブローク              | 1998年 8月 | 347名 | 事業所<br>物流、販売 | マツダ 100%                             |

## 生産拠点

(2016年3月31日時点)

| 国／地域名 | 名 称  | 所在地                 | マツダ車<br>生産開始時期 | 従業員数 | 主な生産車種        | 資本構成                |
|-------|--|---------------------|----------------|------|---------------|---------------------|
| ロシア※  | ④ マツダソラーズマヌファクトゥリングルース<br>MAZDA SOLLERS Manufacturing Rus (略称: MSMR) | ブリモリスキー州<br>ウラジオストク | 2012年10月       | 511名 | CX-5、<br>アテンザ | マツダ 50%<br>ソラーズ 50% |

※ 現地組立のみ(生産台数は公表対象外)

## 販売拠点

(2016年3月31日時点)

| 国／地域名  | 名 称  | 所在地                         | 設立時期     | 従業員数 | 資本構成                                    |
|--------|--|-----------------------------|----------|------|---|
| ドイツ    | マツダモータース(ドイツランド) GmbH<br>Mazda Motors (Deutschland) GmbH | ノルトラインウエスト<br>ファーレン州レバークーゼン | 1972年11月 | 149名 | マツダ 75%、<br>マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25% |
| オーストリア | マツダオーストリアGmbH<br>Mazda Austria GmbH                      | クラーゲンフルト                    | 1981年 7月 | 103名 | マツダ 75%、<br>マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25% |
| ポルトガル  | マツダモートルデポルトガルLda.<br>Mazda Motor de Portugal Lda.        | リスボン                        | 1995年 2月 | 15名  | マツダ 75%、<br>マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25% |
| イタリア   | マツダモーターイタリアS.p.A.<br>Mazda Motor Italia S.p.A.           | ローマ                         | 1999年12月 | 48名  | マツダ 75%、<br>マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25% |
| スペイン   | マツダオートモービルズエスパーニャS.A.<br>Mazda Automoviles Espana, S.A.  | マドリッド                       | 2000年 2月 | 45名  | マツダ 75%、<br>マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25% |
| フランス   | マツダオートモビルフランスS.A.S<br>Mazda Automobiles France S.A.S     | イヴリーヌ県<br>サン・ジェルマン・アン・レイ    | 2001年 2月 | 47名  | マツダ 75%、<br>マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25% |
| スイス    | マツダスイスS.A.<br>Mazda (Suisse) S.A.                        | ブチランシー                      | 2001年 2月 | 41名  | マツダ 75%、<br>マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25% |



## 販売拠点

(2016年3月31日時点)

| 国/地域名            | 名 称   | 所在地         | 設立時期     | 従業員数 | 資本構成                                    |
|------------------|---|-------------|----------|------|---|
| イギリス             | マツダモータース UK Ltd.<br>Mazda Motors UK Ltd.  | ケント州ダートフォード | 2001年 5月 | 99名  | マツダ 75%、<br>マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25% |
| デンマーク            | マツダモーターデンマーク<br>Mazda Motor Denmark   | レズオウア       | 2003年 4月 | 17名  | マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店              |
| ノルウェー            | マツダモーターノルウェー<br>Mazda Motor Norge   | コルボン        | 2004年 4月 | 16名  | マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店              |
| スウェーデン           | マツダモータースウェーデン<br>Mazda Motor Sweden   | クングスバックカ    | 2004年 4月 | 16名  | マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店              |
| ロシア              | マツダモーターロシア, OOO<br>Mazda Motor Rus , OOO  | モスクワ        | 2005年12月 | 88名  | マツダ 100%                                |
| アイルランド           | マツダモーターアイルランド<br>Mazda Motor Ireland  | ダブリン        | 2006年 7月 | 8名   | マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店              |
| チェコ              | マツダモーターチェコ<br>Mazda Motor Czech   | ブラハ         | 2006年10月 | 13名  | マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店              |
| スロバキア            | マツダモータースロバキア<br>Mazda Motor Slovakia  | ブラチスラバ      | 2006年10月 | 4名   | マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店              |
| ベルギー・<br>ルクセンブルク | マツダモーターベラックス<br>Mazda Motor Belux   | ウィルブローク     | 2007年 4月 | 33名  | マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店              |
| ハンガリー            | マツダモーターハンガリー<br>Mazda Motor Hungary Kft   | ブダペスト       | 2008年 4月 | 11名  | マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 100%            |
| クロアチア            | マツダモータークロアチア<br>Mazda Motor Croatia d.o.o.  | ザグレブ        | 2008年 4月 | 11名  | マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 100%            |
| スロベニア            | マツダモータースロベニア<br>Mazda Motor Slovenija d.o.o.  | リュブリャナ      | 2008年 4月 | 7名   | マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 100%            |
| ポーランド            | マツダモーターポーランド<br>Mazda Motor Poland Co., Ltd.  | ワルシャワ       | 2008年 5月 | 21名  | マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店              |
| トルコ              | マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V.<br>メルケジ・ベルチカ・トルキエ・イスタンブル・シュベシ<br>Mazda Motor Logistics Europe N.V.<br>Merkezi Belcika Türkiye Istanbul Subesi | イスタンブール     | 2008年 6月 | 12名  | マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店              |
| オランダ             | マツダモーターネーデルランド<br>Mazda Motor Nederland   | ワディンクスフェーン  | 2008年10月 | 32名  | マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店              |

## 2016年3月期 販売台数

256,629台

## 2016年 3 月期 販売台数

|     |         |      |          |
|-----|---------|------|----------|
| ドイツ | 59,961台 | イギリス | 47,997台  |
| ロシア | 24,657台 | その他  | 124,014台 |

上記台数は2016年3月31日時点のものです。

## 販売台数

(2016年3月31日時点) (台)

| 市 場 | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 欧 州 | 182,685  | 171,540  | 206,724  | 229,133  | 256,629  |

## 市場およびディストリビューター数

(2016年3月31日時点)

| 市 場 | 市場数 | ディストリビューター数 | 拠点数   |
|-----|-----|-------------|-------|
| 欧 州 | 41  | 30          | 1,738 |

## 主要販売車種

| 市 場                | ドイツ | ロシア | イギリス |
|--------------------|-----|-----|------|
| Mazda2 (日本名:デミオ)   | ●   |     | ●    |
| Mazda3 (日本名:アクセラ)  | ●   | ●   | ●    |
| Mazda5 (日本名:プレマシー) | ●   |     | ●    |
| Mazda6 (日本名:アテンザ)  | ●   | ●   | ●    |
| CX-3               | ●   |     | ●    |
| CX-5               | ●   | ●   | ●    |
| CX-9               |     | ●   |      |
| MX-5 (日本名:ロードスター)  | ●   |     | ●    |
| BT-50              |     |     |      |

# 地域別の活動／中国



● 2001年より本格的に中国市場に進出しました。2005年に現地法人を設立し、2つの販売チャネルである「一汽マツダ」「長安マツダ」を統括して、一貫したブランド戦略を展開しています。

● 2014年4月に新型「アテンザ」を長春工場で、新型「アクセラ」を南京工場で生産を開始しました。

## 統括拠点

(2016年3月31日現在)

| 国／地域名 | 名 称   | 所在地         | 設立時期         | 従業員数 | 主な業務内容   | 資本構成     |
|-------|---|-------------|--------------|------|--|----------|
| 中 国   | ① マツダ(中国)企業管理有限公司<br>Mazda Motor (China) Co., Ltd. (略称:MCO)   | 上海市<br>浦东新区 | 2005年<br>1月  | 114名 | 中国市場の事業統括  | マツダ 100% |
|       | ② マツダ(中国)企業管理有限公司 北京分公司<br>Mazda Motor (China) Co., Ltd. Beijing Branch<br>(略称:MCO-Beijing)                     | 北京市<br>朝陽区  | 2007年<br>11月 |      | MCO支社  | —        |
|       | ① マツダ(中国)企業管理有限公司 中国技術支援センター<br>Mazda Motor (China) Co., Ltd.<br>China Engineering Support Center (略称:MCO-CESC) | 上海市<br>嘉定区  | 2005年<br>8月  |      | MCO支社・事務所・ワークショップ<br>技術動向などの調査、研究、およびR&D、<br>購買、品質、サービス領域の技術支援 | —        |

## 生産拠点

(2016年3月31日現在)

| 国／地域名 | 名 称  | 所在地        | マツダ車<br>生産開始時期          | 従業員数   | 主な生産車種        | 資本構成                            |
|-------|--|------------|-------------------------|--------|---------------|---------------------------------|
| 中 国   | ③ 一汽乗用車有限公司<br>FAW Car Co., Ltd. (略称:FCC)                            | 吉林省<br>長春市 | 2003年 3月                | —      | アテンザ、<br>MPV  | 現地 100%                         |
|       | ④ 長安マツダ汽车有限公司<br>Changan Mazda Automobile Co., Ltd. (略称:CMA)         | 江蘇省<br>南京市 | 2007年10月                | 4,200名 | アクセラ、<br>CX-5 | 長安汽車 50%<br>マツダ 50%             |
|       | ④ 長安フォードマツダエンジン有限公司<br>Changan Ford Mazda Engine Co., Ltd. (略称:CFME) | 江蘇省<br>南京市 | 2007年 4月<br>(2005年9月設立) | 1,897名 | 自動車用エンジン      | 長安汽車 50%<br>マツダ 25%<br>フォード 25% |

## 販売拠点

(2016年3月31日現在)

| 国／地域名 | 名 称  | 所在地        | 設立時期     | 従業員数 | 資本構成                              |
|-------|--|------------|----------|------|-----------------------------------|
| 中 国   | 一汽マツダ汽車販売有限公司<br>FAW Mazda Motor Sales Co., Ltd. (略称:FMSC)                           | 吉林省<br>長春市 | 2005年 3月 | 339名 | 一汽乗用車 56%<br>マツダ 40%<br>第一汽車集団 4% |
|       | 長安マツダ汽車販売分公司<br>Changan Mazda Automobile Corporation, LTD.<br>Sales branch (略称:CMAS) | 江蘇省<br>南京市 | 2007年 4月 | 274名 | 長安マツダ汽車<br>有限公司の販売部門              |

2016年3月期 生産台数

234,806台

2016年3月期 販売台数

235,024台



Mazda6 ATENZA (中国生産モデル)



Mazda3 AXELA (中国生産モデル)

## 生産台数

(2016年3月31日時点) (台)

| 国／地域名 | 工場名 | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 |
|-------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 中 国   | FCC | 111,447  | 100,371  | 118,435  | 97,469   | 73,342   |
|       | CMA | 85,438   | 57,563   | 72,120   | 117,793  | 161,464  |
| 合 計   |     | 196,885  | 157,934  | 190,555  | 215,262  | 234,806  |

(注) マツダブランド名で生産された台数を示す。

## 販売台数

(2016年3月31日時点) (台)

| 市 場 | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 中 国 | 222,635  | 174,687  | 196,483  | 214,628  | 235,024  |

## 市場およびディストリビューター数

(2016年3月31日時点)

| 市 場 | 市場数 | ディストリビューター数 | 拠点数 |
|-----|-----|-------------|-----|
| 中 国 | 1   | 2           | 468 |

## 主要販売車種

| 市 場                 | 中国 |
|---------------------|----|
| Mazda2 (日本名: デミオ)   |    |
| Mazda3 (日本名: アクセラ)  | ●  |
| Mazda5 (日本名: プレマシー) | ●  |
| Mazda6 (日本名: アテンザ)  | ●  |
| Mazda8 (日本名: MPV)   | ●  |
| CX-3                |    |
| CX-4                | ●  |
| CX-5                | ●  |
| CX-7                | ●  |
| CX-9                |    |
| MX-5 (日本名: ロードスター)  |    |
| BT-50               |    |



# 地域別の活動／アジア・大洋州



- 1967年に初の海外拠点としてオーストラリアに現地法人を設立し、販売を開始しました。
- タイでは、1998年にフォードとの合弁生産工場にて、ピックアップトラックの現地生産を開始し、その後、「デミオ」、「アクセラ」、「CX-3」と生産車種を拡大しています。
- 2015年1月より新トランスミッション工場が稼働しています。

## 統括会社

(2016年3月31日時点)

| 国／地域名 | 名 称   | 所在地  | 設立時期     | 従業員数 | 主な業務内容       | 資本構成     |
|-------|---|------|----------|------|--------------|----------|
| タ イ   | ① マツダサウスイーストアジアリミテッド<br>Mazda South East Asia, Ltd. (略称:MSEA) | バンコク | 2005年 8月 | —    | ASEAN市場の事業統括 | マツダ 100% |

## 生産拠点

(2016年3月31日時点)

| 国／地域名 | 名 称  | 所在地                  | マツダ車生産開始時期                 | 従業員数   | 主な生産車種              | 資本構成                |
|-------|--|----------------------|----------------------------|--------|---------------------|---------------------|
| 台 湾   | ② 福特六和汽車股份有限公司<br>Ford Lio Ho Motor Co., Ltd. (略称:FLH)   | 中歴市                  | 1987年 3月※1                 | —      | プレマシー               | フォード 70%<br>現 地 30% |
| タ イ   | ③ オートアライアンス(タイランド) Co., Ltd.<br>Auto Alliance (Thailand) Co., Ltd. (略称:AAT)                              | ラヨーン県イースタン・シーボード工業団地 | 1998年 5月※2<br>(1995年11月設立) | 7,515名 | デミオ、アクセラ、CX-3、BT-50 | マツダ 50%<br>フォード 50% |
|       | ③ マツダパワートレインマニュファクチャリング(タイランド) Co., Ltd.<br>Mazda Powertrain Manufacturing (Thailand) Co., Ltd (略称:MPMT) | チョンブリ県               | 2015年 1月                   | 620名   | 自動車用トランスミッション、エンジン  | マツダ 100%            |
| ベトナム  | ④ ヴィナマツダCo.,LTD<br>Vina Mazda Automobile Manufacturing Co.,LTD   | クアンナム省ヌイタン地区         | 2011年10月                   | —      | デミオ、アクセラ、アテンザ、CX-5  | 現 地 100%            |
| マレーシア | ⑤ マツダマレーシアSdn. Bhd.<br>Mazda Malaysia Sdn. Bhd. (略称:MMSB)  | スランゴール州シャーアラム        | 2012年 9月設立※3               | 89名    | アクセラ、CX-5           | マツダ 70%<br>現 地 30%  |

(注) ヴィナマツダ社は一部車種、マツダマレーシア社は全量現地組立のみ(生産台数は公表対象外)。

※1 2016年5月でマツダ車の生産を終了 ※2 乗用車は2009年9月に生産開始。 ※3 マツダマレーシア社の設立年月を指す。マレーシアでの組立事業は、現地資本に委託した2011年3月より行っている。

## 販売拠点

(2016年3月31日時点)

| 国／地域名    | 名 称  | 所在地                | 設立時期     | 従業員数 | 資本構成                     |
|----------|--|--------------------|----------|------|--------------------------|
| オーストラリア  | マツダオーストラリアPty Ltd.<br>Mazda Australia Pty Ltd.               | ビクトリア州マウントウエイバリー   | 1967年 4月 | 279名 | マツダ 100%                 |
| ニュージーランド | マツダモータースオブニュージーランドLtd.<br>Mazda Motors of New Zealand Ltd.   | オークランド市マウントウエイリントン | 1972年 6月 | 42名  | マツダ 100%                 |
| タ イ      | マツダセールス(タイランド) Co., Ltd.<br>Mazda Sales (Thailand) Co., Ltd. | バンコク               | 1990年 6月 | 174名 | マツダ 96.1%<br>KKS 3.9%    |
| インドネシア   | PT. マツダモーターインドネシア<br>PT. Mazda Motor Indonesia               | ジャカルタ              | 2006年 2月 | 85名  | マツダ 99.96%<br>MSEA 0.04% |
| 台 湾      | 台湾マツダ汽車股份有限公司<br>Mazda Motor Taiwan Co., Ltd.                | 台北市                | 2013年12月 | 55名  | マツダ 100%                 |

## 2016年3月期 生産台数

131,288台

## 2016年3月期 販売台数

252,083台

## 2016年3月期 生産台数

|      |          |
|------|----------|
| タイ   | 126,378台 |
| ベトナム | 2,676台   |
| 台湾   | 2,234台   |

上記台数は2016年3月31日時点のものです。

## 2016年3月期 販売台数 アジア(中国除く)

|      |         |
|------|---------|
| タイ   | 42,380台 |
| ベトナム | 22,557台 |
| 台湾   | 21,579台 |
| その他  | 37,379台 |

上記台数は2016年3月31日時点のものです。

## 2016年3月期 販売台数(オセアニア)

|          |          |
|----------|----------|
| オーストラリア  | 116,193台 |
| ニュージーランド | 10,385台  |
| その他      | 1,610台   |

上記台数は2016年3月31日時点のものです。



マツダパワートレインマニュファクチャリング(タイランド)Co., Ltd.



BT-50(タイ生産モデル)

## 生産台数

(2016年3月31日時点)(台)

| 国/地域名 | 名 称    | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 |
|-------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 台 湾   | FLH    | 3,571    | 4,348    | 6,089    | 5,454    | 2,234    |
| タ イ   | AAT    | 76,185   | 120,746  | 77,351   | 84,540   | 126,378  |
| ベトナム  | ヴィナマツダ | 0        | 173      | 720      | 800      | 2,676    |

(注) マツダブランド名で生産された台数を示す。

## 販売台数

(2016年3月31日時点)(台)

| 地 域   | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| アジア※5 | 82,517   | 115,024  | 90,099   | 93,237   | 123,895  |
| オセアニア | 98,849   | 111,282  | 112,608  | 111,650  | 128,188  |

※5 台湾含む。中国を除く。

## 市場およびディストリビューター数 (2016年3月31日現在)

| 地 域   | 市場数 | ディストリビューター数 | 拠点数 |
|-------|-----|-------------|-----|
| アジア※6 | 17  | 17          | 379 |
| オセアニア | 14  | 14          | 178 |

※6 台湾含む。中国を除く。

## 主要販売車種

| 地 域<br>市 場        | アジア |      |    | オセアニア   |          |
|-------------------|-----|------|----|---------|----------|
|                   | タイ  | ベトナム | 台湾 | オーストラリア | ニュージーランド |
| Mazda2(日本名:デミオ)   | ●   | ●    | ●  | ●       | ●        |
| Mazda3(日本名:アクセラ)  | ●   | ●    | ●  | ●       | ●        |
| Mazda5(日本名:プレマシー) |     |      | ●  |         |          |
| Mazda6(日本名:アテンザ)  |     | ●    | ●  | ●       | ●        |
| CX-3              | ●   |      |    | ●       | ●        |
| CX-5              | ●   | ●    | ●  | ●       | ●        |
| CX-9              | ●   |      |    | ●       | ●        |
| MX-5(日本名:ロードスター)  | ●   |      | ●  | ●       | ●        |
| BT-50             | ●   | ●    |    | ●       | ●        |

## 地域別の活動／中近東・アフリカ・カリブ・中南米



### 販売拠点

(2016年3月31日時点)

| 国／地域名   | 名 称   | 所在地    | 設立時期     | 従業員数 | 資本構成                 |
|---------|---|--------|----------|------|----------------------|
| ① コロンビア | マツダデコロンビアS.A.S<br>Mazda de Colombia S.A.S (略称:MCOL)           | ボゴタ    | 2014年 5月 | 57名  | マツダ 100%             |
| ② 南アフリカ | マツダサザンアフリカ(Pty)Ltd<br>Mazda Southern Africa (Pty) Ltd(略称:MSA) | ミッドランド | 2013年 7月 | 47名  | マツダ 70%<br>伊藤忠商事 30% |



マツダサザンアフリカ本社



コロンビアの首都ボゴタで開催されたモーターショー(2016年11月)

## 2016年3月期 販売台数

# 122,421台

| 2016年3月期 販売台数(中近東) |         |
|--------------------|---------|
| サウジアラビア            | 24,429台 |
| イスラエル              | 16,011台 |
| その他                | 14,302台 |

上記台数は2016年3月31日時点のものです。

| 2016年3月期 販売台数(アフリカ) |         |
|---------------------|---------|
| 南アフリカ               | 10,311台 |
| その他                 | 8,624台  |

上記台数は2016年3月31日時点のものです。

| 2016年3月期 販売台数(カリブ・中南米) |         |
|------------------------|---------|
| コロンビア                  | 17,414台 |
| チリ                     | 12,476台 |
| その他                    | 18,854台 |

上記台数は2016年3月31日時点のものです。

## 生産台数

(2016年3月31日時点)(台)

| 国／地域名 | 名 称    | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 |
|-------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 南アフリカ | FMCSA  | 2,951    | 3,098    | 3,154    | 2,283    | 932      |
| ジンバブエ | WMMI   | 813      | 246      | 1        | 0        | 0        |
| コロンビア | CCA    | 3,223    | 3,905    | 2,044    | 351      | 0        |
| エクアドル | MARESA | 6,108    | 11,334   | 6,842    | 6,879    | 1,684    |

(注) マツダブランド名で生産された台数を示す。

## 販売台数

(2016年3月31日時点)(台)

| 地 域      | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 中近東      | 33,410   | 29,852   | 39,408   | 44,690   | 54,742   |
| アフリカ     | 12,595   | 9,824    | 11,494   | 11,750   | 18,935   |
| カリブ・中南米※ | 38,401   | 35,311   | 42,342   | 44,922   | 48,744   |

※ メキシコを除く。

## 市場およびディストリビューター数 (2016年3月31日時点)

| 地 域      | 市場数 | ディストリビューター数 | 拠点数 |
|----------|-----|-------------|-----|
| 中近東      | 13  | 13          | 204 |
| アフリカ     | 39  | 26          | 162 |
| カリブ・中南米※ | 37  | 36          | 257 |

※ メキシコを除く。

## 主要販売車種

| 地 域               | カリブ・中南米 |    | 中近東   |         | アフリカ  |
|-------------------|---------|----|-------|---------|-------|
| 市 場               | コロンビア   | チリ | イスラエル | サウジアラビア | 南アフリカ |
| Mazda2(日本名:デミオ)   | ●       | ●  | ●     |         | ●     |
| Mazda3(日本名:アクセラ)  | ●       | ●  | ●     | ●       | ●     |
| Mazda5(日本名:プレマシー) |         | ●  | ●     |         |       |
| Mazda6(日本名:アテンザ)  | ●       | ●  | ●     | ●       | ●     |
| CX-3              |         |    |       |         |       |
| CX-5              | ●       | ●  | ●     | ●       | ●     |
| CX-9              | ●       | ●  |       | ●       |       |
| MX-5(日本名:ロードスター)  | ●       |    |       | ●       | ●     |
| BT-50             | ●       | ●  |       | ●       | ●     |



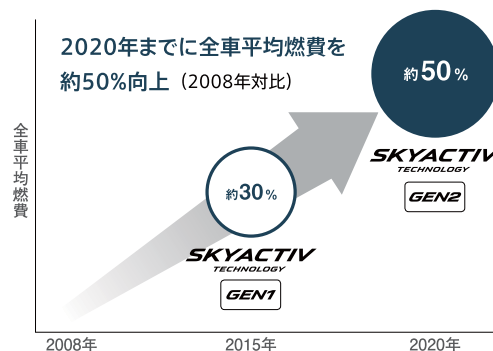
# 環境・安全技術 デザイン

## 「サステナブル “Zoom-Zoom” 宣言」

マツダ車をご購入いただいたすべてのお客さまに「走る喜び」と「優れた環境・安全性能」を提供することを基本ポリシーとする、技術開発の長期ビジョン「サステナブル “Zoom-Zoom” 宣言」を発表しました（2007年3月発表）。これは、「いつまでも『ワクワク』するクルマ、『見て乗りたくなる、乗って楽しくなる、そしてまた乗りたくなる』クルマを提供し、クルマも、人も、地球も、みんながワクワクし続けられる、サステナブルな未来の実現に向けて取り組むこと」を宣言したものです。

## 2020年までに マツダ車の燃費を50%向上

技術開発の長期ビジョン「サステナブル “Zoom-Zoom” 宣言」のもと、燃費向上によりCO<sub>2</sub>排出量を削減し、マツダ車をご購入いただいたすべてのお客さまに走る喜びと優れた環境性能を提供していきます。マツダは、2015年4月、「2020年までに、グローバルで販売するマツダ車の平均燃費を2008年比で50%向上させる」という計画を掲げました。



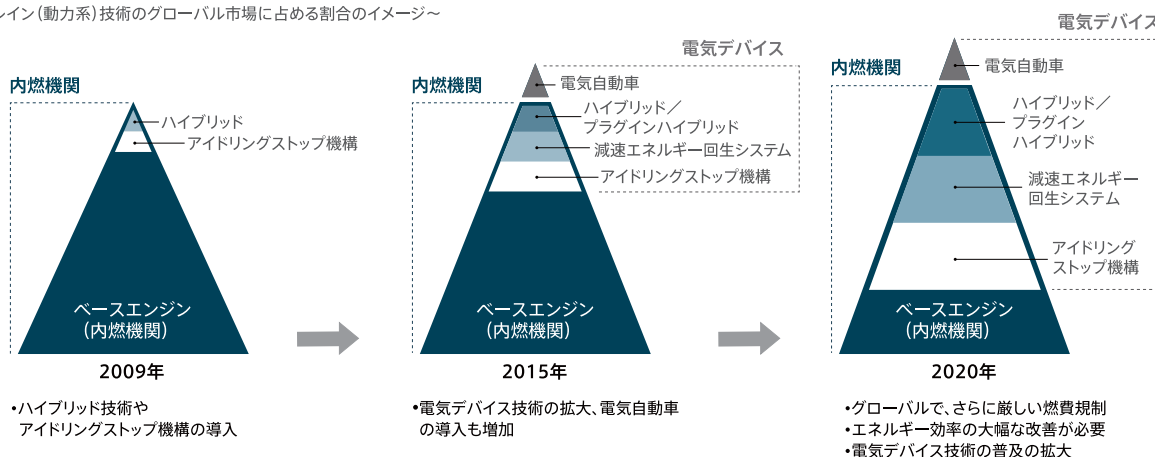
## ビルディングブロック戦略

マツダはクルマの基本性能となるエンジンやトランスミッション、ボディ、シャシーなどの「ベース技術」を飛躍的に向上させた上で、段階的に減速エネルギー回生技術やハイブリッドシステムなどの「電気デバイス」を導入する“ビルディングブロック戦略”を推進しています。これは、一部の環境対応車に大きく依存することなく、すべてのお客さまに、「走る喜び」と「優れた環境・安全性能」をお届けすることで、効果的にCO<sub>2</sub>の総排出量を削減するアプローチです。

革新的なベース技術「SKYACTIV技術」で、クルマの基本性能となるエンジンやトランスミッションなどのパワートレインの効率改善や車両の軽量化、空力特性などを徹底的に改善し、ビルディングブロック戦略に基づき、ベース技術と電気デバイス技術を組み合わせていきます。

### 環境技術の採用拡大展望（～2020年）

～パワートレイン（動力系）技術のグローバル市場に占める割合のイメージ～



### ビルディングブロック戦略



## SKYACTIV TECHNOLOGY

「SKYACTIV技術」は、サステナブル“Zoom-Zoom”宣言に基づいて、「走る歓び」と「優れた環境・安全性能」の高次元での両立をイメージした革新的な次世代技術の総称です。SKYACTIV技術は「ビルディングブロック戦略」に沿って展開される技術の全てを包含しています。

### ■ SKYACTIV-G

世界一の高圧縮比(14.0)を達成し、燃費と中低速トルクを従来比で15%改善した新世代高効率直噴ガソリンエンジン※1

※1 2012年11月マツダ調べ。圧縮比の数値、燃費・トルク改善率は仕様等により変わることがあります。



### ■ SKYACTIV-D

世界一の低圧縮比(14.0)を実現した新世代高効率クリーンディーゼルエンジン※1

※1 2012年11月マツダ調べ。圧縮比の数値、燃費・トルク改善率は仕様等により変わることがあります。



### ■ SKYACTIV-DRIVE

すべてのトランスミッションの利点を集約した新世代高効率オートマチックトランスミッション



### ■ SKYACTIV-MT

軽快なシフトフィールと大幅な軽量・コンパクト化を実現した、新世代マニュアルトランスミッション



### ■ SKYACTIV BODY

「走る歓び」を支える高い剛性と、最高レベルの衝突安全性を実現した軽量ボディ。



### ■ SKYACTIV CHASSIS

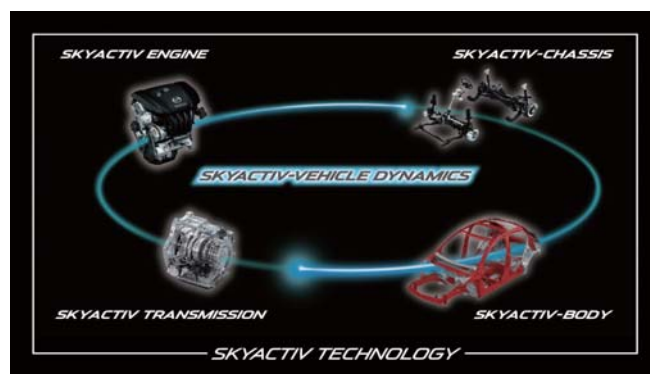
ロードスター並みの「人馬一体」感を追求し、「走る歓び」を実現すると同時に快適性、安心感を高めた軽量シャシー。



## SKYACTIV-VEHICLE DYNAMICS

新世代車両運動制御技術「スカイアクティブ ビークル ダイナミクス (SKYACTIV-VEHICLE DYNAMICS)」の第一弾として「G-ベクタリング コントロール(以下、GVC)」を開発しました。2016年7月に日本で発売した大幅改良「アクセラ」から順次すべての新世代商品に搭載する予定です。

GVCは、「エンジンでシャシー性能を高める」という発想と、人間中心の開発哲学に基づいて開発されました。ドライバーのハンドル操作に応じてエンジンの駆動トルクを変化させることで、これまで別々に制御されていた車両の横方向と前後方向の加速度(G)を統合的にコントロールし、四輪への接地荷重を最適化してスムーズで効率的な車両挙動を実現する世界初※の制御技術です。 ※ 2016年6月現在の量産車として マツダ調べ



## 環境・安全技術 デザイン

### i-ELOOP(アイ・イーループ)

蓄電器にキャパシターを採用した減速エネルギー回生システム。キャパシターは、大量の電気を素早く充放電でき、繰り返し使用しても劣化が少ない特徴をもちます。減速時の車両の運動エネルギーを効率よく電力に変換し、クルマの電装品に使用することで、頻繁に加減速がある実用走行時での燃費改善効果が見込めます。

### SKYACTIV-HYBRID

低回転・低負荷時に電気モーターで走行をアシストすることで車全体のエネルギー効率を向上させるシステムです。「i-stop」や「i-ELOOP」を併用することで、さらに高い効率改善(燃費向上)を実現しました。2013年11月に新型「アクセラ」に搭載し日本市場で販売し、「走る歓び」の感動をそのままに、低燃費を実現しています。

## デザインテーマ “魂動(こどう)ーSoul of Motion”

マツダはこれまで、さまざまな「動き」のある造形を模索してきました。その模索の中でマツダデザインがたどり着いたのは、生物が見せる一瞬の動きの強さや美しさです。この一瞬の動きをMotion Formの究極の姿として見出し、その生命感あふれる動き、心ときめかせる動きを“魂動(こどう)”と定義しました。そして、この“魂動(こどう)ーSoul of Motion”というデザインテーマのもと、“動き”の表現を深化させていきます。

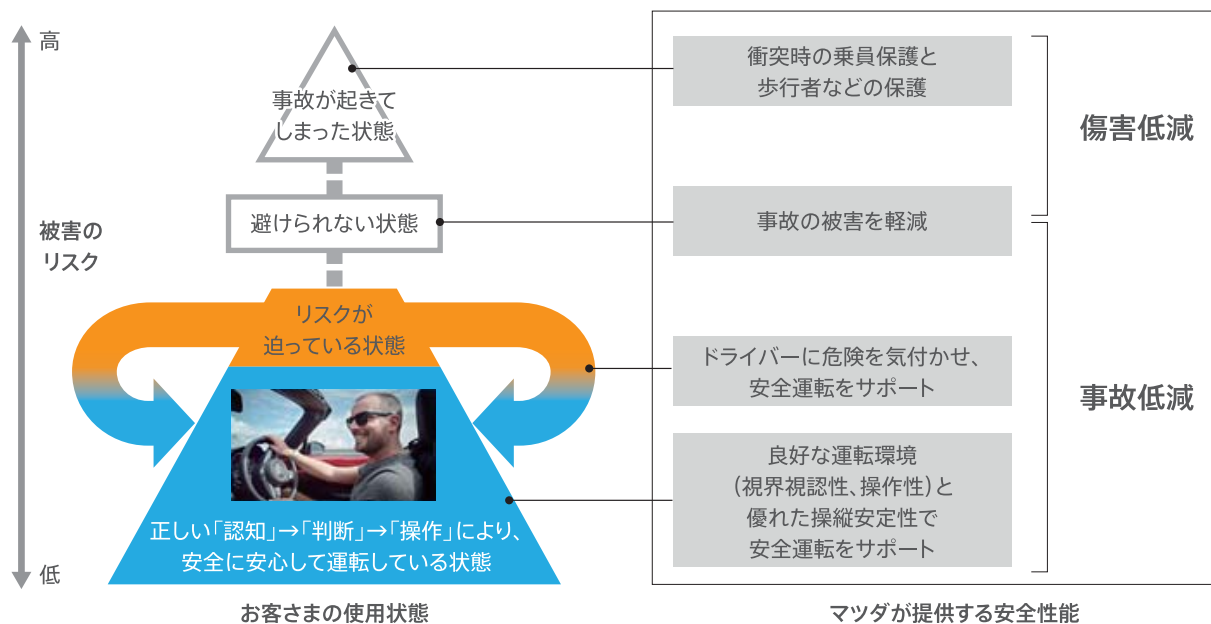


左から「マツダ アクセラ」「マツダ デミオ」「マツダ CX-3」「マツダ ロードスター」「マツダ アテンザ」「マツダ CX-5」

## MAZDA PROACTIVE SAFETY(マツダ プロアクティブ セーフティ)

マツダは、ドライバー・人間を理解・信頼・尊重することを重視し、以下の考え方で安全技術の研究・開発を行っています。

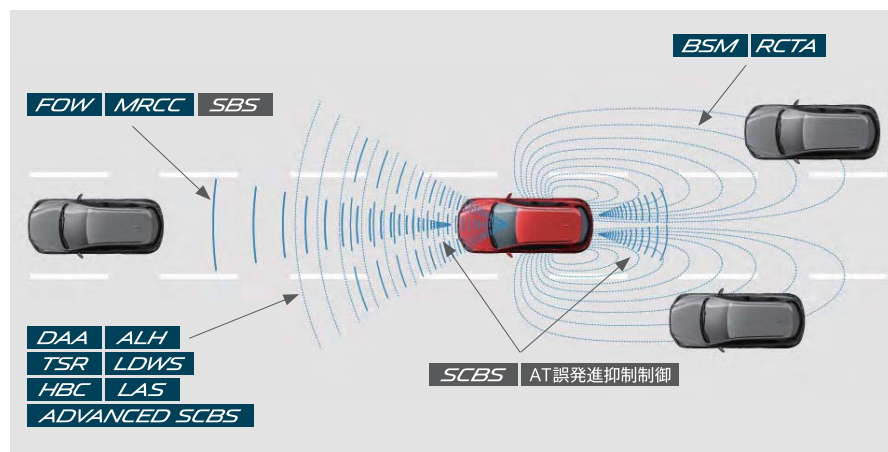
安全に運転するためには、認知・判断・操作の各ステップで適切に行動することが重要です。運転する環境が変化しても、正しく認知・判断することをサポートし、安全に安心して運転していただきたいと考えています。しかし、人間は時として避けられないミスを起こします。万が一のドライバーのミスにも対応できるように、事故被害を防止・軽減することをサポートする技術を開発・提供していきます。



### i-ACTIVSENSE(アイ・アクティブセンス)

マツダの考える安全技術とは「ドライバーを支援すること」。

「i-ACTIVSENSE」は、ミリ波レーダーやカメラなどの検知デバイスを用いたマツダの先進安全技術の総称です。事故が避けづらい状況での衝突回避・被害軽減を図るプリクラッシュセーフティ技術に加え、認知支援を行いドライバーの安全運転をサポートするアクティブセーフティ技術で構成されています。





## 良好な運転環境を提供

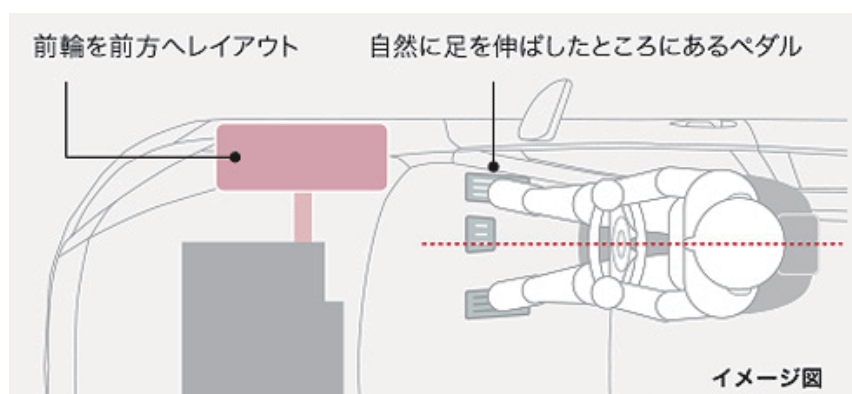
マツダは良好な運転環境と優れた操縦安定性で安全運転をサポートします。

### 理想のドライビングポジションの実現

人間中心にクルマのレイアウトを考え、アクセルやブレーキ、ステアリングなどを自然な場所に配置し、操作をしやすくすることで、運転が楽しくなり、安全性の向上にもつながると考えています。ドライビングポジションこそが、マツダが理想とする「人馬一体」の走りの基礎であると考え、「人間中心の考え方」を設計思想の根本におき、クルマづくりに取り組んでいます。

理想のドライビングポジションを保ちながら、自然に足を伸ばした位置にアクセルペダルとブレーキペダルを配置しています。これを実現するために、「CX-5」以降のマツダ車は前輪のホイールハウスを前に少し移動し、人間に合わせてクルマの設計を変えています。さらに、体格やアイラインゾーンの違いにかかわらず、多くの人が最適なドライビングポジションを確保できるように、シートやステアリングの前後・上下の調整範囲も決定しています。

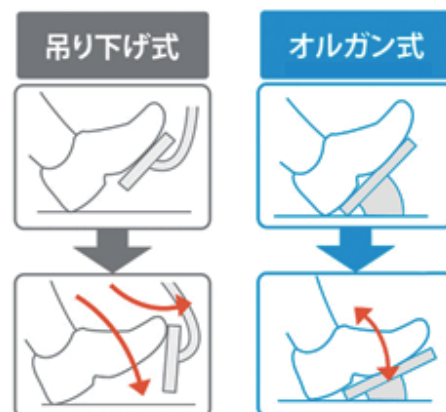
理想のペダル配置を実現する、前輪の前方レイアウト



### オルガン式アクセルペダルの採用

オルガン式アクセルペダルでは、かかとをフロアにつけてペダルを踏み込んだ時、踏み込む足とペダルが同じ軌跡を描くため、かかとがずれにくく、アクセルペダルがコントロールしやすくなります。

またシートに座って自然に足を前に出した位置にアクセルペダルを配置することで、運転時の疲労を軽減し、とっさの時の踏み間違いも起きにくくなります。



## Heads-Up Cockpit

多くの情報を扱いながら、正しい姿勢で安全に運転に集中することを目的として視線移動と姿勢変化を最小限に抑えたHMI(ヒューマン・マシーン・インターフェイス)を実現しました。

- ・ 情報を種類ごとにゾーン配置したシンプルなコックピット
- ・ 視線を下げずに確認しやすいダッシュボード上に設置された7インチセンターディスプレイ<sup>①</sup>
- ・ 手元を目で確認しない操作を追求したコマンダーコントロール<sup>②</sup>
- ・ 車速やナビゲーションのルート誘導情報などをメーターフード前方に虚像として表示するアクティブ・ドライビング・ディスプレイ<sup>③</sup>
- ・ 音声で各機能をコントロールする音声認識にも対応



① センターディスプレイ



② コマンダーコントロール

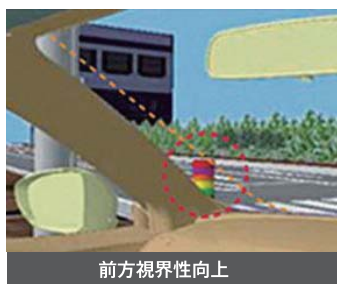


③ アクティブ・ドライビング・ディスプレイ

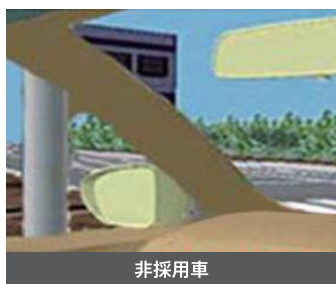
## 前方視界性向上

Aピラーを一般的な車両よりも後ろ側にレイアウトすることで、より優れた斜め前方の視界を提供できるよう設計しました。さらに、Aピラーとドアミラーの間にも十分な隙間を設け、運転席側・助手席側ともに斜め前方の低い位置も視認しやすくし、より安全な運転をサポートします。

Aピラー形状の工夫による斜め前方視界比較



前方視界性向上



非採用車

ドアミラー取り付け位置の比較



前方視界性向上



非採用車

# 社歴 1920 - 2006

## 経営

1920年 1月 東洋コルク工業株式会社として創立、海塚新八社長就任  
1921年 3月 松田重次郎社長就任  
1927年 9月 東洋工業株式会社に改称  
1929年 4月 工作機械の製作開始  
1931年 10月 3輪トラック「マツダ号」を生産開始  
1932年 ー 大連、奉天、青島へ3輪トラック初輸出  
1935年 10月 さく岩機の生産開始  
1945年 8月 建物の一部を広島県に貸与、県庁の全機構が当社に移される(～'46年7月)  
1949年 8月 3輪トラック輸出再開(インド)  
1951年 12月 松田恒次社長就任  
1961年 7月 独NSU社、バンケル社とロータリーエンジンに関し技術提携  
1962年 1月 韓国で現地組立開始  
1963年 3月 自動車生産累計100万台達成  
6月 南アフリカで現地組立開始  
1965年 1月 英国パーキンスサービス社とディーゼルエンジンに関し技術提携  
5月 三次自動車試験場完成  
1966年 11月 宇品乗用車専用工場完成  
1967年 3月 欧州向け本格輸出開始  
4月 オーストラリアに販売会社を設立  
1968年 7月 カナダに販売会社を設立  
1969年 4月 ロータリーエンジン車本格輸出開始  
1970年 4月 対米輸出開始  
11月 松田耕平社長就任  
1971年 2月 マツダモーターオブアメリカ(MMA)設立  
1972年 10月 マツダトレーニングセンター鯛尾完成  
12月 自動車生産累計500万台達成  
1974年 4月 三次ディーゼルエンジン工場完成  
1975年 1月 タイで現地組立を開始  
1977年 12月 山崎芳樹社長就任  
1978年 11月 ロータリーエンジン車生産累計100万台達成  
1979年 6月 自動車生産累計1,000万台達成  
11月 フォードとの資本提携を開始

1981年 12月 防府中間変速機工場稼働開始  
「オートラマ」を設立('82年10月より商品供給開始)  
1982年 9月 防府西浦工場本格操業開始  
1983年 4月 コロンビアで現地生産開始(CCA設立)  
1984年 5月 マツダ株式会社へ社名変更  
10月 マツダ財団設立  
11月 山本健一社長就任  
1985年 1月 米国生産会社(MMUCのちのAAI)を設立  
3月 マツダ北京事務所設立  
1986年 4月 ロータリーエンジン車生産累計150万台達成  
12月 マツダR&Dセンター、アナーバー(米国)完成  
1987年 4月 生産累計2,000万台を達成  
6月 技術研究所横浜研究所開設  
12月 古田徳昌社長就任  
スズキ(株)(鈴木自動車工業)との軽自動車生産協力を発表  
1988年 5月 マツダR&Dセンター、アーバイン(米国)完成  
1989年 4月 「ユーノス」「オートザム」設立  
6月 東京支社を東京本社に呼称変更  
1990年 5月 マツダ欧州R&D事務所(MRE)完成  
12月 生産累計2,500万台達成  
1991年 6月 第59回ル・マン24時間レースでマツダ787Bが日本車史上初の総合優勝  
11月 「マツダオート」チャンネルを「アンフィニ」に変更  
12月 和田淑弘社長就任  
1992年 2月 防府第2工場が本格操業を開始  
4月 「マツダ地球環境憲章」を制定  
9月 中国で現地生産を開始  
1993年 3月 環境に関する行動推進計画を策定  
5月 米国AAIでの生産累計100万台達成  
1994年 11月 国内自動車メーカーで初めて「ISO9002」規格の認証を取得  
1995年 4月 生産累計3,000万台達成  
11月 タイでAAT設立(工場着工は翌年2月)

## 商品

1931年 10月 マツダ初の自動車、3輪トラック「マツダ号」新発売  
1950年 6月 マツダ初の小型4輪トラック「CA車」新発売  
1958年 4月 小型4輪トラック「ロンパー」新発売(後に「Dシリーズ(クラフト)」「Eシリーズ(タイタン)」へ派生)  
1960年 5月 軽乗用車「R360クーペ」新発売  
1961年 2月 軽4輪トラック「B360」新発売(後に「ポーター」へ改称)  
8月 小型4輪トラック「B1500」新発売(後に「プロシード」へ改称)  
1962年 2月 軽乗用車「キャロル」新発売  
1963年 10月 「ファミリア800バン」新発売  
1964年 10月 「ファミリアセダン」新発売  
1965年 5月 ライトバス新発売(後に「パークウェイ」へと改称)  
1966年 5月 「ボンゴ」新発売  
8月 「ルーチェ」新発売  
1967年 5月 初のロータリーエンジン搭載車「コスモスポーツ」新発売  
1969年 4月 軽4輪トラック「ポーターキャブ」新発売  
10月 中型トラック「ボクサー」新発売  
1970年 5月 「カベラ」新発売  
1971年 9月 「グランドファミリア」新発売  
「サバンナ」新発売  
1972年 6月 軽乗用車「シャンテ」新発売  
1975年 3月 「ロードペーサー」新発売  
10月 「コスモ」新発売  
1978年 3月 「サバンナRX-7」新発売  
1980年 12月 5代目「ファミリア」が「1980-1981日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞  
1982年 12月 4代目「カベラ(テルスター)」が「1982-1983日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞  
1983年 6月 「ボンゴブローニイ」新発売

1986年 2月 「フェスティバ」新発売  
1987年 1月 「エチュード」新発売  
1988年 10月 「ベルソナ」新発売  
1989年 6月 「スクラム」新発売(スズキ(株)からのOEM)  
9月 「ユーノスロードスター」新発売  
11月 「ユーノス100」「ユーノス300」新発売  
1990年 1月 「MPV」新発売  
4月 「ユーノスコスモ」新発売  
9月 「レビュー」新発売  
1991年 5月 「センチア」新発売  
6月 「ユーノスブレッソ」「AZ-3」新発売  
10月 水素RE自動車「HR-X」を東京モーターショーで発表  
「クロノス」新発売  
11月 「アンフィニMS-6」「アンフィニMS-9」新発売  
1992年 1月 「MX-6」新発売  
2月 「ユーノス500」新発売  
3月 「アンフィニMS-8」新発売  
5月 「クレフ」新発売  
10月 軽自動車「AZ-1」新発売  
11月 天然ガスエンジン搭載乗用車を開発  
1993年 1月 「ユーノスロードスター」ベースの高性能電気自動車を開発  
4月 ミラーサイクルエンジンの開発に成功  
9月 「ランティス」新発売  
10月 「ユーノス800」新発売  
1994年 2月 「タイタン」天然ガストラックを開発  
9月 軽自動車「AZ-ワゴン」新発売(スズキ(株)からのOEM)  
商用車「ファミリアバン」、日産自動車(株)からのOEM供給に(5代目)

1996年 4月 「アンフィニ」店を「マツダアンフィニ」店に呼称変更  
「ユーノス」店を「マツダアンフィニ」店または「マツダ店」に統合  
6月 開発からアフターサービスまでカバーする「ISO9001」を国内自動車メーカーで初めて取得  
ヘンリーD. G. ウォレス社長就任

1997年 6月 「新ブランドシンボル」を制定  
10月 北米事業を統合（MNAOスタート）  
11月 ジェームズE. ミラー社長就任  
12月 倫理委員会を設置

1998年 1月 社章を変更  
3月 欧州事業を統合（現MMEスタート）  
4月 プロダクトフィロソフィーを制定  
5月 AATで生産開始  
8月 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V.（MLE）を設立  
9月 防府工場・西浦工場がISO14001を取得  
12月 AATより輸出開始

1999年 6月 AAIが生産累計200万台を達成  
三菱自動車と小型商用車のOEM供給で合意  
9月 防府工場が環境ISO認証の取得を完了  
12月 マーク・フィールズ社長就任

2000年 4月 通商産業省の支援による燃料電池電気自動車の実車走行試験・共同プロジェクトに参加  
6月 全国生産拠点でISO14001認証を取得  
7月 メディアウェブサイトを開設  
マツダ、乗用車共通の「ブランドDNA」を策定  
8月 タイ製ピックアップトラックが生産累計10万台を達成  
11月 中期経営計画「ミレニアムプラン」を発表

2001年 1月 低コストの塗膜除去技術を活用した回収バンパー再生材の用途を拡大し、新車のバンパー補強用部品に採用  
2月 日本初、インターネットを使った受注生産（BTO）を開始  
9月 宇品第2工場を閉鎖（～'04年5月）

2002年 1月 防府工場が累計生産台数500万台を達成  
北海道 中札内試験場を竣工  
MZRエンジンの生産を国内で開始  
3月 事業所内保育施設「わくわくキッズ園」を設置  
4月 新ブランドメッセージ「Zoom-Zoom」を展開  
5月 執行役員制度を導入するなどコーポレートガバナンスを強化  
6月 ルイス・ブース社長兼CEO就任  
8月 マツダレンタリースのリースカー事業を住銀オートリースに売却  
9月 マツダアステック（さく岩機製造）をサンドビックグループに営業譲渡  
12月 経営諮問委員会を設置し、コーポレートガバナンスを強化

2003年 1月 新世代ロータリーエンジン「RENESIS」の生産を開始  
中国一気乗用車で「Mazda6」の生産開始  
フォード バレンシア工場（欧州）で「Mazda2」の生産を開始（～'07年6月）  
7月 いすゞ（株）と小型トラックのOEM供給で合意  
8月 井巻久一社長兼CEO就任

2004年 2月 販売系列全店で軽自動車の扱いを開始、登録車も併売を拡大  
4月 国内生産体制再編のため、本社第1工場での生産を終了  
5月 国内生産体制再編のため、宇品第2工場を再稼働  
9月 マツダレンタカーの全株式を譲渡  
12月 宇品第1工場で火災発生

2005年 2月 本社敷地内に水素ステーションを開設  
創業85周年を機に「マツダミュージアム」全面リニューアル  
4月 広島大学大学院工学研究科と自動車の先進技術の研究協力で契約  
新生宇品第1工場塗装ライン稼働  
8月 中国技術支援センターを開設

2006年 1月 三菱商事とエネルギー供給会社「MCMエネルギーサービス（株）」を設立  
2月 「Mazda3」を長安フォード重慶工場で生産開始  
4月 マツダオートザム 販売累計台数100万台達成  
5月 美祢自動車試験場の開所式を実施  
7月 自動車運搬船「クーガーエース」事故発生

1995年 2月 「プロシードレバンテ」新発売（スズキ（株）からのOEM）  
6月 「ボンゴフレンディ」新発売

1996年 8月 「デミオ」新発売  
10月 初代「デミオ」が「RJCニュー・カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

1997年 12月 燃料電池電気自動車「デミオFCEV」を開発

1998年 5月 小型キャブオーバーバンの電気自動車「ボンゴEV」を発売  
10月 軽自動車「AZ-オフロード」新発売（スズキ（株）からのOEM）  
軽自動車「キャロル」、スズキ（株）からのOEM供給に（4代目）

1999年 3月 軽自動車「ラピュタ」新発売（スズキ（株）からのOEM）  
4月 アルデヒド除去剤「ライフ・プレス」を開発  
「プレマシー」新発売

2000年 7月 「ロードスター」が“世界で最も多く生産された2人乗り小型オープンスポーツカー”としてギネスに認定（565,779台）  
10月 「タイタンダッシュ」新発売  
11月 「トリビュート」新発売

2001年 2月 燃料電池自動車「プレマシーFC-EV」を開発、国内初の公道走行試験を開始  
12月 新世代モジュール基材用の高強度プラスチック技術を開発

2002年 2月 軽自動車「スピアーノ」新発売（スズキ（株）からのOEM）  
5月 次世代商品第一弾として、「アテンザ」新発売  
7月 機械加工時の切削液の使用量を大幅削減する「セミドライ加工」で環境への負荷を軽減  
世界初の環境にやさしい「スリー・ウエット・オン塗装技術」を開発し、揮発性有機化合物と二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を削減  
11月 初代「アテンザ」が「2003RJCカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞  
12月 先進安全自動車（ASV）の公道走行試験を開始

2003年 2月 摩擦熱を利用したアルミ材接合技術を世界で初めて開発  
4月 優れた歩行者保護性能を持つ衝撃吸収構造アルミボンネットを開発  
5月 PM排出量を現行比で75%以上削減するディーゼルエンジン用の排出ガス低減技術を開発  
6月 「RENESIS」が「インターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤー2003」を受賞  
9月 塗膜除去率を99.9%まで高めるバンパーリサイクルのための新技術を開発し、「バンパーtoバンパー」リサイクルを実現  
10月 「アクセラ」新発売  
11月 「RENESIS」が「RJCテクノロジー・オブ・ザ・イヤー」を受賞  
「RX-8」が「2004RJCカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞  
12月 「Mazda6」が中国の「2004年カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

2004年 5月 「RENESIS」が「インターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤー2.5～3.0リットル」部門賞を2年連続で受賞  
6月 「ベリーサ」新発売  
10月 RX-8水素ロータリーエンジン車の公道走行を開始  
11月 マツダのスリー・ウエット・オン塗装技術が地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞

2005年 3月 「バンパーtoバンパー」リサイクル技術をRX-8から新車のバンパーに導入開始  
4月 新生宇品第1工場塗装ラインにスリー・ウエット・オン塗装方式を採用  
6月 世界初、摩擦熱を利用した鉄とアルミ材の点接合技術を開発  
11月 3代目「ロードスター」が「2005-2006日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

2006年 2月 水素ロータリーエンジン車「RX-8ハイドロジェンRE」の限定リース販売を開始  
5月 産学官の連携で、自動車内装部品用を高強度、高耐熱性を持つバイオプラスチックを開発  
11月 「MPV」2.3L DISIターボエンジン車がエコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）を受賞  
12月 「CX-7」新発売



# 社歴 2007 - 2016

## 経営

- 2007年** **3月** 新中期計画「マツダ アドバンスメント プラン」を策定  
技術開発の長期ビジョン「サステイナブル“Zoom-Zoom”宣言」を策定
- 4月** 長安フォードマツダエンジン工場(南京)でのエンジン量産開始
- 5月** 厚生労働省の次世代認定マーク「くるみん」を取得  
ロータリーエンジン車発売40周年を迎える
- 7月** 国内生産累計4,000万台を達成  
AATが生産累計100万台を達成  
業界初となる、V型6気筒エンジンと直列4気筒エンジンの混流生産を実現  
専用コンテナでの鉄道往復輸送によるグリーン物流システムを構築
- 10月** 「Mazda2」を長安フォードマツダ南京工場で生産開始
- 2008年** **2月** 日本初の「人権擁護功労賞」受賞
- 3月** 自動車販売金融事業における戦略的提携を実施
- 4月** 国内販売会社に環境マネジメントシステム「エコアクション21」を導入
- 6月** ブランドを視覚的に表現するグローバル・ビジュアル・アイデンティティを導入  
CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取り組みを発表  
ー2015年までにグローバルでマツダ車の燃費を30%向上ー
- 7月** 全国規模の部品販売会社、マツダパーツ株式会社を設立
- 9月** シベリア鉄道を利用した車両輸送を開始
- 10月** マツダミュージアム来場者100万人達成
- 11月** 山内孝社長兼CEO就任
- 12月** 新広島市民球場の命名権契約を締結し、「Mazda Zoom-Zoom スタジアム広島」と命名
- 2009年** **3月** 「マツダ(中国)トレーニングセンター」を北京、上海、深センに開設
- 4月** 一汽マツダ汽車販売有限公司に増資し、出資比率を25%から40%に引き上げ、販売網を強化
- 7月** AAT新乗用車工場完成
- 2010年** **3月** トヨタとハイブリッドシステムの技術ライセンス供与に合意
- 4月** 広島大学とマツダ財団の連携事業「科学わくわくプロジェクト」が、「平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞」を受賞
- 9月** 「ひろしまの森林(もり)づくりフォーラム」に加入し、「マツダの森」を通じた地域の森林保全活動に協力開始
- 2011年** **1月** 日産とマツダ、新たなOEM供給契約を締結
- 2月** 広島大学と包括的連携に関する協定を締結
- 6月** 住友商事とメキシコでの生産事業およびブラジルでの販売事業で合併事業に合意  
社外取締役制度を導入
- 10月** 住友商事とメキシコ新工場の起工式を実施  
ベトナム「ヴィナマツダ社」の新工場で「Mazda2」の現地組立を開始
- 2012年** **1月** マツダ病院の新棟(入院棟)を竣工
- 5月** フィアット社とオープン2 シータースポーツカーの開発・生産に向けた協議を開始
- 7月** 「SKYACTIV-G」、「SKYACTIV-D」エンジンの年間生産能力を80万基に増強
- 9月** ロシアのソラース社と、現地合弁生産会社「マツダソラース」を設立  
マレーシアのベルマツ社との合弁会社「マツダ・マレーシア」を設立
- 11月** トヨタと、マツダのメキシコ新工場におけるトヨタ車の生産について合意

## 商品

- 2007年** **9月** 植物由来100%の繊維からなる自動車内装用バイオフィブリックを開発
- 10月** 世界初となるシングルナノテクノロジーを活用した触媒材料構造を持つ自動車用触媒を開発
- 11月** 3代目「デミオ」が「2008年次RJCカーオブザイヤー」を受賞  
ノルウェー国家プロジェクトHyNor(ハイノール)に参画し、2008年夏から水素ロータリーエンジン車をノルウェーに納入
- 2008年** **1月** 広島地区の産学官共同でITS公道実証実験を実施  
国内初のリアビークルモニタリングシステムを実用化
- 3月** 3代目「Mazda2」が「2008世界カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞  
先進安全自動車「マツダASV-4」の公道走行試験を開始
- 6月** 食糧と競合しないバイオプラスチックの技術開発に、産学官連携で2013年までの実用化を目指して着手  
「マツダ プレマシー ハイドロジェンREハイブリッド」の国土交通大臣認定を取得
- 7月** 「ピアンテ」新発売
- 9月** 直噴エンジンの技術を活用した独自のアイドリングストップ機構「アイ・ストップ(i-stop)」を開発  
樹脂の使用量を30%削減できるプラスチック成形技術を開発
- 2009年** **1月** 貴金属の使用量を約70%削減できるシングルナノ触媒を世界で初めて実用化
- 2月** マツダ、ITS合同実証実験「ITS-Safety 2010」に参加
- 3月** 世界初の廃車バンパーリサイクル自動化技術を開発  
日本メーカー初の乗用車用尿素SCRシステムを開発  
世界初のハイブリッドシステム搭載水素ロータリーエンジン車「マツダ プレマシー ハイドロジェンREハイブリッド」のリース販売を開始
- 6月** 世界で最も環境負荷の少ない新水性塗装技術「アクアテック塗装」を開発、宇部第一工場への導入を開始
- 11月** 「i-stop」が「2010年次RJCテクノロジーオブザイヤー」を受賞  
「i-stop」を搭載した「アクセラ」と「ピアンテ」が第6回エコプロダクツ大賞を受賞  
マツダ、「つくば環境スタイル実証プロジェクト」に参画し、電気自動車のベース車両として「マツダ デミオ」を提供
- 2010年** **9月** 「動き」を表現した新デザインテーマ“魂動(こどう)ーSoul of Motion”を発表
- 10月** 次世代技術「SKYACTIV」を発表
- 2011年** **2月** 「ロードスター」が累計生産90万台を達成、ギネス記録更新を申請
- 5月** 「アクセラ」が世界累計生産300万台を達成
- 6月** 高効率直噴ガソリンエンジン「SKYACTIV-G 1.3」を搭載した「デミオ」を発売
- 9月** SKYACTIV技術搭載第2弾となる「アクセラ」を発売
- 11月** 「RX-8」の最後の特別仕様車「SPIRIT R」を発売  
新型エンジン「SKYACTIV-G 1.3」が「2012年次RJCテクノロジーオブザイヤー」を受賞  
乗用車用として世界で初めてキャパシターを採用した減速エネルギー回収システム「i-ELOOP」を開発
- 2012年** **2月** 「SKYACTIV技術」を全面採用し、先進安全技術「スマート・シティ・ブレーキ・サポート」を搭載した、新型クロスオーバーSUV「マツダ CX-5」を新発売
- 6月** 軽自動車「マツダ フレアワゴン」を新発売(スズキ(株)からのOEM)
- 10月** 「デミオEV」のリース販売を開始
- 11月** 「マツダ CX-5 SKYACTIV-D2.2」が、「2012-2013日本自動車殿堂カーテクノロジーオブザイヤー」を受賞  
先進安全技術「i-ACTIVSENSE(アイ アクティブセンス)」を搭載した、3代目「アテンザ」を発売  
「CX-5」が「2012-2013日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
- 2013年** **1月** 「プレマシー」をマイナーチェンジ
- 5月** 「ピアンテ」をマイナーチェンジ
- 9月** 先進安全自動車「アテンザ ASV-5」の公道実証実験を開始
- 11月** 3代目「アクセラ」を発売  
3代目「アテンザ」が「2013-2014日本カー・オブ・ザ・イヤー エモーショナル部門賞」を受賞  
3代目「アテンザ」が「RJCカーオブザイヤー」を受賞

**2013年** **1月** マツダとフィアット、アルファロメオ車の生産に向けた事業契約を締結  
**4月** 山内孝会長 社長兼CEO(当時)が、メキシコの勲章「アギラ・アステカ勲章」を受章  
**6月** 小飼雅道社長兼CEO就任  
**7月** タイの新トランスミッション工場の起工式を実施  
**8月** メキシコ新工場にエンジン機械加工工場の新設を発表  
 国内の「SKYACTIV技術」エンジンの年間生産能力を100万基に増強を発表  
 防府工場の累計生産台数1,000万台を達成  
 南アフリカに販売統括会社を設立  
 広島市民球場の命名権を取得、球場名「Mazda Zoom-Zoom スタジアム広島」を継続

**2014年** **1月** メキシコ新工場で量産開始  
**2月** メキシコ新工場の開所式を実施  
**3月** タイで新型「Mazda3」の生産を開始  
**4月** 中国で新型「Mazda6」と新型「Mazda3」の生産を開始  
**5月** マレーシアの車両組立工場(マツダ車専用)が完成  
 コロンビアの新販売統括会社が営業開始  
**6月** 「アクセラ教習車」の累計生産台数が1万台を達成  
**7月** 台湾の新販売統括会社が営業開始  
 新型「デミオ」の生産を防府工場で開始  
 国内市場での新コンセプトの販売店「新世代店舗」を公表  
 防府工場(中関)の「SKYACTIV技術」トランスミッションの生産能力を増強  
**8月** 「MAZDA TECHNOLOGY FOR KIDS」、第8回キッズデザイン賞「内閣総理大臣賞」受賞  
**9月** タイで新型「Mazda2」を生産開始  
 本社ロビーをリニューアル  
**10月** メキシコで新型「Mazda2」を生産開始  
 ミャンマー市場に再参入しASEAN加盟国のすべてでマツダ車を販売  
**12月** 「アテンザ」の世界累計生産が300万台を達成

**2015年** **1月** タイの新トランスミッション工場で量産開始  
**5月** トヨタと業務提携に向けて基本合意  
 「ひろしま自動車産学官連携推進会議」の設置を発表  
**7月** タイで新型「BT-50」を生産開始  
**9月** 三次自動車試験場が開業50周年  
**11月** 「アクアテック塗装」が第6回ものづくり日本大賞「内閣総理大臣賞」を受賞  
**12月** 米国環境保護庁(EPA)燃費トレンドレポートの「企業平均燃費値」で3年連続総合1位獲得

**2016年** **1月** 「マツダブランドスペース大阪」がオープン  
**2月** ブランド価値のさらなる向上に向け国内販売体制を強化  
**4月** 「アクアテック塗装」のグローバル展開を開始  
**5月** 「第8回 日本マーケティング大賞」を受賞  
**6月** にしき堂とのコラボレーション商品「マツダ ロードスター生産 100万台記念パッケージ もみじ詰合せ」を発売  
 兵庫県立大学との共同研究を開始  
**7月** マツダといすゞ、いすゞ製次世代ピックアップトラックのOEM供給で合意  
**8月** タイのパワートレイン工場のエンジン生産能力増強を発表  
**9月** ロシアのソラース社との合併生産会社がエンジン工場設立についてロシア政府と特別投資契約を締結  
**11月** 「マツダ自動車保険 スカイプラス」を導入  
 米国環境保護庁(EPA)燃費トレンドレポートの「企業平均燃費値」で4年連続総合1位獲得

**2014年** **2月** 「アクセラ」が世界累計生産400万台を達成  
**4月** 「SKYACTIV技術」搭載車のグローバル生産台数が100万台を突破  
**9月** 新型「ロードスター」を世界初公開  
 新型「デミオ」を発表  
**10月** 新型「デミオ」が「2014-2015日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞  
**11月** 新型「デミオ」が2014年度「グッドデザイン金賞」を受賞  
 小排気量クリーンディーゼルエンジン「SKYACTIV-D 1.5」が、「第11回エコプロダクツ大賞」を受賞

**2015年** **1月** 「アテンザ」と「CX-5」の大幅改良モデルを発表  
**2月** 新型「CX-3」を発表  
**3月** マツダ3車種が独「レッド・ドット・プロダクトデザイン2015」を受賞  
**5月** 新型「ロードスター」を発表  
**6月** 新型「ロードスター」から「電子取扱説明書」を導入  
 2015年グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードに参加  
**7月** 新世代ヘッドランプ技術「アダプティブ・LED・ヘッドライト」が「第9回キッズデザイン賞」を受賞  
**9月** フランクフルトモーターショーで「マツダ越 KOERU」を初公開  
 ドイツにおいて3つのデザイン賞を受賞  
**10月** 東京モーターショーでコンセプトモデル「Mazda RX-VISION」を世界初公開  
**11月** 4代目「マツダ ロードスター」が「2015~2016日本自動車殿堂カーオブザイヤー」を受賞  
 新型3列ミッドサイズクロスオーバーSUV「CX-9」をロサンゼルスオートショーにて世界初公開  
**12月** 4代目「ロードスター」が「日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞  
 新世代商品のグローバル生産台数が300万台を突破

**2016年** **1月** 「Mazda RX-VISION」がフランスで最も美しいコンセプトカーに選出  
**2月** 新型「マツダ CX-9」の生産を開始  
**3月** 2016年参加型モータースポーツイベント等の協賛計画を発表  
 リトラクタブルハードトップモデル「MX-5 RF」を世界初公開  
 4代目「ロードスター」が2016年「ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー」、「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー」を受賞  
**4月** 新型クロスオーバーSUV「CX-4」を世界初公開  
 「ロードスター」が累計生産100万台を達成  
**5月** 「アクセラ」が世界累計生産500万台を達成  
 「CX-3」、JNCAPファイブスター賞を平成27年度最高得点で受賞  
 「SKYACTIV-D」の燃焼室構造が平成28年度全国発明表彰「恩賜発明賞」を受賞  
**7月** 「アクセラ」を大幅改良  
 マツダ、新世代車両運動制御技術「SKYACTIV-VEHICLE DYNAMICS」を発表  
**8月** 「アテンザ」を商品改良  
 G-ベクタリング コントロールと自動ブレーキ技術が第10回キッズデザイン賞を受賞  
**10月** 「MX-5 RF」の生産を開始  
 「CX-3」「デミオ」の商品改良車を発表  
**11月** 「ロードスター RF」を発表  
 ロサンゼルス自動車ショーにて新型「CX-5」を世界初公開  
 新ボディカラー「ソウルレッドクリスタルメタリック」を開発  
 「CX-4」が「2017中国カーデザイン・オブ・ザ・イヤー」を初受賞

## ■最新情報について

「会社の概要」および「役員」に関する情報に変更があった場合、最新の情報を下記URLのホームページにて掲載します。

<http://www.mazda.com/ja/about/profile/>

## ■マツダ株式会社のその他の情報開示ツール

会社概況に加えて、以下のツールでもマツダの考え方、活動、データの情報開示をしています。

### サステナビリティレポート

---

マツダのCSR(企業の社会的責任)についての報告書

<http://www.mazda.com/ja/csr/download/>

### アニュアルレポート

---

マツダの投資家向け年次報告書

<http://www.mazda.com/ja/investors/library/annual/>

### 有価証券報告書など

---

<http://www.mazda.com/ja/investors/library/s-report/>

# マツダ株式会社

発 行：マツダ株式会社 広報本部

広島本社:広島県安芸郡府中町新地3-1 〒730-8670

東京本社:東京都千代田区内幸町1-1-7 〒100-0011

発行年月:2016年11月

---

マツダコールセンター 0120-386-919

受付時間/月～金 9:00～17:00

土日・休日 9:00～17:00(12:00～13:00を除く)

マツダホームページURL

<http://www.mazda.co.jp/>